

スーパーゾル クセノンピンスポット
3002SR型
取扱説明書

USHIO
U-TECH INC.

目次

1. 概要	1
2. 仕様	2
3. 取扱い	3
4. 点検	4
5. 故障の診断	5
6. 分解・組立	6
7. 部品名	7
8. 点検・調整	8
9. 故障の診断	9
10. 分解・組立	10
11. 部品名	11
12. 点検・調整	12
13. 故障の診断	13
14. 分解・組立	14
15. 部品名	15
16. 点検・調整	16
17. 故障の診断	17
18. 分解・組立	18
19. 部品名	19
20. 点検・調整	20
21. 故障の診断	21
22. 分解・組立	22
23. 部品名	23
24. 点検・調整	24
25. 故障の診断	25
26. 分解・組立	26
27. 部品名	27
28. 点検・調整	28
29. 故障の診断	29
30. 分解・組立	30
31. 部品名	31
32. 点検・調整	32
33. 故障の診断	33
34. 分解・組立	34
35. 部品名	35
36. 点検・調整	36
37. 故障の診断	37
38. 分解・組立	38
39. 部品名	39
40. 点検・調整	40
41. 故障の診断	41
42. 分解・組立	42
43. 部品名	43
44. 点検・調整	44
45. 故障の診断	45
46. 分解・組立	46
47. 部品名	47
48. 点検・調整	48
49. 故障の診断	49
50. 分解・組立	50
51. 部品名	51
52. 点検・調整	52
53. 故障の診断	53
54. 分解・組立	54
55. 部品名	55
56. 点検・調整	56
57. 故障の診断	57
58. 分解・組立	58
59. 部品名	59
60. 点検・調整	60
61. 故障の診断	61
62. 分解・組立	62
63. 部品名	63
64. 点検・調整	64
65. 故障の診断	65
66. 分解・組立	66
67. 部品名	67
68. 点検・調整	68
69. 故障の診断	69
70. 分解・組立	70
71. 部品名	71
72. 点検・調整	72
73. 故障の診断	73
74. 分解・組立	74
75. 部品名	75
76. 点検・調整	76
77. 故障の診断	77
78. 分解・組立	78
79. 部品名	79
80. 点検・調整	80
81. 故障の診断	81
82. 分解・組立	82
83. 部品名	83
84. 点検・調整	84
85. 故障の診断	85
86. 分解・組立	86
87. 部品名	87
88. 点検・調整	88
89. 故障の診断	89
90. 分解・組立	90
91. 部品名	91
92. 点検・調整	92
93. 故障の診断	93
94. 分解・組立	94
95. 部品名	95
96. 点検・調整	96
97. 故障の診断	97
98. 分解・組立	98
99. 部品名	99
100. 点検・調整	100
101. 故障の診断	101
102. 分解・組立	102
103. 部品名	103
104. 点検・調整	104
105. 故障の診断	105
106. 分解・組立	106
107. 部品名	107
108. 点検・調整	108
109. 故障の診断	109
110. 分解・組立	110
111. 部品名	111
112. 点検・調整	112
113. 故障の診断	113
114. 分解・組立	114
115. 部品名	115
116. 点検・調整	116
117. 故障の診断	117
118. 分解・組立	118
119. 部品名	119
120. 点検・調整	120
121. 故障の診断	121
122. 分解・組立	122
123. 部品名	123
124. 点検・調整	124
125. 故障の診断	125
126. 分解・組立	126
127. 部品名	127
128. 点検・調整	128
129. 故障の診断	129
130. 分解・組立	130
131. 部品名	131
132. 点検・調整	132
133. 故障の診断	133
134. 分解・組立	134
135. 部品名	135
136. 点検・調整	136
137. 故障の診断	137
138. 分解・組立	138
139. 部品名	139
140. 点検・調整	140
141. 故障の診断	141
142. 分解・組立	142
143. 部品名	143
144. 点検・調整	144
145. 故障の診断	145
146. 分解・組立	146
147. 部品名	147
148. 点検・調整	148
149. 故障の診断	149
150. 分解・組立	150
151. 部品名	151
152. 点検・調整	152
153. 故障の診断	153
154. 分解・組立	154
155. 部品名	155
156. 点検・調整	156
157. 故障の診断	157
158. 分解・組立	158
159. 部品名	159
160. 点検・調整	160
161. 故障の診断	161
162. 分解・組立	162
163. 部品名	163
164. 点検・調整	164
165. 故障の診断	165
166. 分解・組立	166
167. 部品名	167
168. 点検・調整	168
169. 故障の診断	169
170. 分解・組立	170
171. 部品名	171
172. 点検・調整	172
173. 故障の診断	173
174. 分解・組立	174
175. 部品名	175
176. 点検・調整	176
177. 故障の診断	177
178. 分解・組立	178
179. 部品名	179
180. 点検・調整	180
181. 故障の診断	181
182. 分解・組立	182
183. 部品名	183
184. 点検・調整	184
185. 故障の診断	185
186. 分解・組立	186
187. 部品名	187
188. 点検・調整	188
189. 故障の診断	189
190. 分解・組立	190
191. 部品名	191
192. 点検・調整	192
193. 故障の診断	193
194. 分解・組立	194
195. 部品名	195
196. 点検・調整	196
197. 故障の診断	197
198. 分解・組立	198
199. 部品名	199
200. 点検・調整	200
201. 故障の診断	201
202. 分解・組立	202
203. 部品名	203
204. 点検・調整	204
205. 故障の診断	205
206. 分解・組立	206
207. 部品名	207
208. 点検・調整	208
209. 故障の診断	209
210. 分解・組立	210
211. 部品名	211
212. 点検・調整	212
213. 故障の診断	213
214. 分解・組立	214
215. 部品名	215
216. 点検・調整	216
217. 故障の診断	217
218. 分解・組立	218
219. 部品名	219
220. 点検・調整	220
221. 故障の診断	221
222. 分解・組立	222
223. 部品名	223
224. 点検・調整	224
225. 故障の診断	225
226. 分解・組立	226
227. 部品名	227
228. 点検・調整	228
229. 故障の診断	229
230. 分解・組立	230
231. 部品名	231
232. 点検・調整	232
233. 故障の診断	233
234. 分解・組立	234
235. 部品名	235
236. 点検・調整	236
237. 故障の診断	237
238. 分解・組立	238
239. 部品名	239
240. 点検・調整	240
241. 故障の診断	241
242. 分解・組立	242
243. 部品名	243
244. 点検・調整	244
245. 故障の診断	245
246. 分解・組立	246
247. 部品名	247
248. 点検・調整	248
249. 故障の診断	249
250. 分解・組立	250
251. 部品名	251
252. 点検・調整	252
253. 故障の診断	253
254. 分解・組立	254
255. 部品名	255
256. 点検・調整	256
257. 故障の診断	257
258. 分解・組立	258
259. 部品名	259
260. 点検・調整	260
261. 故障の診断	261
262. 分解・組立	262
263. 部品名	263
264. 点検・調整	264
265. 故障の診断	265
266. 分解・組立	266
267. 部品名	267
268. 点検・調整	268
269. 故障の診断	269
270. 分解・組立	270
271. 部品名	271
272. 点検・調整	272
273. 故障の診断	273
274. 分解・組立	274
275. 部品名	275
276. 点検・調整	276
277. 故障の診断	277
278. 分解・組立	278
279. 部品名	279
280. 点検・調整	280
281. 故障の診断	281
282. 分解・組立	282
283. 部品名	283
284. 点検・調整	284
285. 故障の診断	285
286. 分解・組立	286
287. 部品名	287
288. 点検・調整	288
289. 故障の診断	289
290. 分解・組立	290
291. 部品名	291
292. 点検・調整	292
293. 故障の診断	293
294. 分解・組立	294
295. 部品名	295
296. 点検・調整	296
297. 故障の診断	297
298. 分解・組立	298
299. 部品名	299
300. 点検・調整	300
301. 故障の診断	301
302. 分解・組立	302
303. 部品名	303
304. 点検・調整	304
305. 故障の診断	305
306. 分解・組立	306
307. 部品名	307
308. 点検・調整	308
309. 故障の診断	309
310. 分解・組立	310
311. 部品名	311
312. 点検・調整	312
313. 故障の診断	313
314. 分解・組立	314
315. 部品名	315
316. 点検・調整	316
317. 故障の診断	317
318. 分解・組立	318
319. 部品名	319
320. 点検・調整	320
321. 故障の診断	321
322. 分解・組立	322
323. 部品名	323
324. 点検・調整	324
325. 故障の診断	325
326. 分解・組立	326
327. 部品名	327
328. 点検・調整	328
329. 故障の診断	329
330. 分解・組立	330
331. 部品名	331
332. 点検・調整	332
333. 故障の診断	333
334. 分解・組立	334
335. 部品名	335
336. 点検・調整	336
337. 故障の診断	337
338. 分解・組立	338
339. 部品名	339
340. 点検・調整	340
341. 故障の診断	341
342. 分解・組立	342
343. 部品名	343
344. 点検・調整	344
345. 故障の診断	345
346. 分解・組立	346
347. 部品名	347
348. 点検・調整	348
349. 故障の診断	349
350. 分解・組立	350
351. 部品名	351
352. 点検・調整	352
353. 故障の診断	353
354. 分解・組立	354
355. 部品名	355
356. 点検・調整	356
357. 故障の診断	357
358. 分解・組立	358
359. 部品名	359
360. 点検・調整	360
361. 故障の診断	361
362. 分解・組立	362
363. 部品名	363
364. 点検・調整	364
365. 故障の診断	365
366. 分解・組立	366
367. 部品名	367
368. 点検・調整	368
369. 故障の診断	369
370. 分解・組立	370
371. 部品名	371
372. 点検・調整	372
373. 故障の診断	373
374. 分解・組立	374
375. 部品名	375
376. 点検・調整	376
377. 故障の診断	377
378. 分解・組立	378
379. 部品名	379
380. 点検・調整	380
381. 故障の診断	381
382. 分解・組立	382
383. 部品名	383
384. 点検・調整	384
385. 故障の診断	385
386. 分解・組立	386
387. 部品名	387
388. 点検・調整	388
389. 故障の診断	389
390. 分解・組立	390
391. 部品名	391
392. 点検・調整	392
393. 故障の診断	393
394. 分解・組立	394
395. 部品名	395
396. 点検・調整	396
397. 故障の診断	397
398. 分解・組立	398
399. 部品名	399
400. 点検・調整	400
401. 故障の診断	401
402. 分解・組立	402
403. 部品名	403
404. 点検・調整	404
405. 故障の診断	405
406. 分解・組立	406
407. 部品名	407
408. 点検・調整	408
409. 故障の診断	409
410. 分解・組立	410
411. 部品名	411
412. 点検・調整	412
413. 故障の診断	413
414. 分解・組立	414
415. 部品名	415
416. 点検・調整	416
417. 故障の診断	417
418. 分解・組立	418
419. 部品名	419
420. 点検・調整	420
421. 故障の診断	421
422. 分解・組立	422
423. 部品名	423
424. 点検・調整	424
425. 故障の診断	425
426. 分解・組立	426
427. 部品名	427
428. 点検・調整	428
429. 故障の診断	429
430. 分解・組立	430
431. 部品名	431
432. 点検・調整	432
433. 故障の診断	433
434. 分解・組立	434
435. 部品名	435
436. 点検・調整	436
437. 故障の診断	437
438. 分解・組立	438
439. 部品名	439
440. 点検・調整	440
441. 故障の診断	441
442. 分解・組立	442
443. 部品名	443
444. 点検・調整	444
445. 故障の診断	445
446. 分解・組立	446
447. 部品名	447
448. 点検・調整	448
449. 故障の診断	449
450. 分解・組立	450
451. 部品名	451
452. 点検・調整	452
453. 故障の診断	453
454. 分解・組立	454
455. 部品名	455
456. 点検・調整	456
457. 故障の診断	457
458. 分解・組立	458
459. 部品名	459
460. 点検・調整	460
461. 故障の診断	461
462. 分解・組立	462
463. 部品名	463
464. 点検・調整	464
465. 故障の診断	465
466. 分解・組立	466
467. 部品名	467
468. 点検・調整	468
469. 故障の診断	469
470. 分解・組立	470
471. 部品名	471
472. 点検・調整	472
473. 故障の診断	473
474. 分解・組立	474
475. 部品名	475
476. 点検・調整	476
477. 故障の診断	477
478. 分解・組立	478
479. 部品名	479
480. 点検・調整	480
481. 故障の診断	481
482. 分解・組立	482
483. 部品名	483
484. 点検・調整	484
485. 故障の診断	485
486. 分解・組立	486
487. 部品名	487
488. 点検・調整	488
489. 故障の診断	489
490. 分解・組立	490
491. 部品名	491
492. 点検・調整	492
493. 故障の診断	493
494. 分解・組立	494
495. 部品名	495
496. 点検・調整	496
497.	

目次

	ページ
1. 特徴	1
2. 安全にお使いいただくために	2
警告	2
注意	3
3. 本体表示銘板と表示内容	6
4. 機器構成	7
5. 各部の名称	8
(1) 灯体 (XPS-3002SR)	8
(2) 灯体内部	9
(3) 整流器	10
(a) KCX-100P1	10
(b) KSX-100MHXC4	11
6. 灯体のセッティング	12
(1) 設置場所	12
(2) 箱を開ける	12
(a) 灯体の箱を開ける	12
(b) スタンドの箱を開ける	12
(3) スタンドの組立	12
(4) スタンドの折り畳み方法 (オプション)	13
(a) 折り畳む場合	13
(b) 使用する場合	13
(5) 灯体とスタンドの組立	14
(6) ランプの取付	15
(7) カラーチェンジャーの取付 (オプション)	17
7. 整流器のセッティング	19
(1) セッティング	19
(a) KCX-100P1	19
☑箱を開ける	19
☑前ドアを外す	19
☑入力電源電圧の設定	19
【入力電源電圧が3相4線式173V (±10%以内)の場合】	19
【入力電源電圧が3相3線式200V (±10%以内)の場合】	19
(b) KSX-100MHXC4	20
☑箱を開ける	20
☑入力電源電圧の設定	20
【入力電源電圧100V/120V (±10%以内)の場合】	20
【入力電源電圧200V/220V/240V (±10%以内)の場合】	21
(2) 設置	22
(a) KCX-100P1	22
(b) KSX-100MHXC4	22
(3) 灯体と整流器の接続	23
(a) KCX-100P1	23
(b) KSX-100MHXC4	24
8. 点灯準備と確認	25
9. ランプ点灯	26

	ページ
10. ランプ電流の調整	27
(1) KCX-100P1の場合	27
(2) KSX-100MHXC4の場合	27
11. 光学調整	28
(1) ランプ調整	28
(2) リフレクタ調整	29
(3) アーク安定調整	29
(4) フォーカス調整	29
12. 各部の操作方法	30
(1) 灯体を動かす	30
(a) 灯体を左右に動かす場合	30
(b) 灯体を上下に動かす場合	30
(c) 灯体のバランスを調整する場合	31
(2) アイリスシャッタ (円の大きさを変える)	31
(3) カッタ (光をカットする)	32
(4) ドウサカッタ (光の明るさを調整する)	33
(5) ズーム調整 (照射円の大きさを調整する)	33
(6) ソフトフォーカス (オプション)	33
(7) カラーチェンジャ (オプション)	34
(8) アパーチャープレート差込用差込口	34
13. 終了	35
14. メンテナンス	36
(1) レンズ及びリフレクタの清掃	36
(2) ランプの交換及び点検	36
(3) ランプ接続の点検	39
(4) アイリスシャッタの交換	40
(5) カラーチェンジャ (オプション) のカラーシート (別途) の交換	41
15. 故障診断	42
16. 日常点検項目と修理依頼	43
総合配線系統図 (KCX-100P1)	45
総合配線系統図 (KSX-100MHXC4)	46
外観寸法図 (XPS-3002SR)	47
灯体内部配線系統図	48
KCX-100P1 (回路図/外観寸法図)	49
KCX-100P1 (部品明細表)	50
KSX-100MHXC4 (回路図/外観寸法図)	51
KSX-100MHXC4 (部品明細表)	52
整流器の固定方法 (KCX-100P1)	53
転倒防止ワイヤ取付支持軸の取付方法 (オプション)	54
17. 主な仕様	55

1. 特徴

・シャープエッジ

アクロマットレンズの採用により、色収差が改善され、スポットのエッジがよりシャープになりました。

・操作性の向上

理想的な重量バランス設計により、微妙な操作も容易になりました。

・設置の配慮

ワンタッチコネクタの採用により、結線が簡単になりました。

・安全性の配慮

灯体の本体ドア開閉セーフティスイッチ、電源ボックス（整流器）の移動防止金具など、安全のお使いいただくための配慮がされています。

・オプション

オプションとして、バランスウエート付カラーチェンジャ、灯体の転倒防止ワイヤー取付支持軸、ワンタッチでチェンジできるソフトフォーカス機構そして、移動用折り畳みスタンドに変更するための締付ボルトなどを準備しています。

2. 安全にお使いいただくために

警 告

-  ● 演出空間用の器具です。演出空間の用途以外には、使用しないでください。一般用照明器具として使用する製品ではありません。
-  ● 高電圧を発生する器具のため、弊社指定の使用条件で使用してください。使用条件を厳守されないと、感電・火災の原因となります。
-  ● 器具の本体重量に見合ったスタンド（取付金具）を使用してください。スタンド（取付金具）の選定を間違えると落下し、物的損害・けがの原因となります。
-  ● 器具の取付・設置には、可燃物と器具周辺面（照射方向を除く）との最小距離を本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離をとって、取付けてください。指定距離より近すぎると、火災の原因となります。
-  ● 集光形照明器具と被照射面の距離は、本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離をとってください。指定距離より近すぎると、被照射物の火災の原因となります。
-  ● 器具の使用角度に制限がありません。本体表示及び取扱説明書に従って正しく使用してください。使用角度範囲を越えると、器具の破損、ランプの破裂の原因となります。
-  ● 器具の取付・設置時は、電源コードを器具本体に接触しないように取付けてください。接触していると火災の原因となります。
-  ● 器具の点灯中及び消灯直後は、本体周辺を素手で触らないでください。本体周辺が高温のため、やけどの原因となります。
-  ● カラーチェンジャ取付枠（フィルタホルダ枠）の押さえ金具を確実にとめてください。押さえ金具を確実に止めないとカラーチェンジャ（フィルタホルダ）が落下し、物的損害・けがの原因となります。
-  ● カラーチェンジャ及びフィルタホルダは、適合品を使用してください。カラーチェンジャ及びフィルタホルダの破損・変形したものを使用すると落下し、物的損害・けがの原因となります。
-  ● 器具を分解したり改造しないでください。故障・感電・火災の原因となります。
-  ● 煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、火災・感電の原因となります。
-  ● 異常の時は、すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから原因を究明してください。容易に原因の究明ができない場合は、弊社に修理依頼をしてください。

⚠ 注意

1. 使用環境・使用条件について

- この器具は屋内用です。屋外で使用しないでください。
屋外で使用すると、感電・火災の原因となることがあります。
- この器具は最高周囲温度以下で使用してください。
破損・変形・火災とランプの破裂の原因となることがあります。
- 湿気や水気のあるところで使用しないでください。
感電・火災の原因となることがあります。
- この器具及び電源ボックス（整流器）は許容周囲温度内で使用してください。
ランプの不点灯や破損の原因となることがあります。
- 不安定な場所や燃えやすいものの近くで使用しないでください。
倒れたり、落ちたりして、火災・けがの原因となります。
- ランプは、指定されたランプを使用してください。
指定以外（適合しない）のランプを使用すると、器具の破損・ランプの破裂の原因となります。
- この器具は紫外線を微放射しますので、長時間にわたり人体に及びないように注意してください。

2. 取付・設置について

- 器具の取付・設置前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要ときに活用ください。
- 器具の取付・設置は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 据付施工は、電気工事士などの熟練者（専門家）が行ってください。
未熟者だけの対応は、間違いの原因となることがあります。
- 器具、電源ボックス（整流器）の取付・設置に方向性があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定以外の取付けを行うと、本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具の取付・設置には、器具本体の転倒・落下防止を取扱説明書に従って正しく行なってください。
器具が転倒・落下し、物的損害・けがの原因となります。
- カラーチェンジャ取付枠にカラーチェンジャ等を装着する場合は、カラーチェンジャ取付枠の許容重量に見合ったカラーチェンジャ等を使用してください。
器具本体の破損、カラーチェンジャ等の落下によって、物的損害・けがの原因になります。
- 電源ボックス（整流器）を重ね設置すると電源ボックス（整流器）の放熱により過熱状態になり、機器の破損・火災の原因となります。
- 電源ボックス（整流器）はアース接続（第3種接地）してください。
アース接続をしないと感電・故障の原因となることがあります。

3. 使用前の準備について

- 器具の使用前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要ときに活用ください。
- 器具の使用前の準備は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 電源接続は、取扱説明書に従って確実に行ってください。
接続が不完全な場合は、接触不良により火災の原因となります。

⚠ 注意

- 器具内部の輸送用緩衝材などを取り外して使用してください。残材があった場合は、器具の破損・火災の原因となります。
- ランプの取扱いは、ランプの取扱説明書または注意書きをよくお読みください。また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要ときに活用ください。
- ランプの装着は、ランプチャック及び高圧リード線端子口に確実に装着してください。確実に装着されないとランプ・ランプチャック、スタータの破損の原因となります。

4. 使用方法について

- 器具を取扱う場合は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 器具、電源ボックス（整流器）の取付に方向性があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定以外の取付けを行うと、本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具の取付けには、器具本体の転倒・落下防止を取扱説明書に従って正しく取付けてください。確実に取付けないと取付金具等の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因となります。
- 電源ボックス（整流器）を重ね設置すると電源ボックス（整流器）の放熱により過熱状態になり、機器の破損・火災の原因となります。
- 電源ボックス（整流器）はアース接続（第3種接地）してください。
アース接続をしないと感電・故障の原因となることがあります。
- カラーチェンジャ取付枠にカラーチェンジャ等を装着する場合は、カラーチェンジャ取付枠の許容重量に見合ったカラーチェンジャ等を使用してください。
器具本体の破損、カラーチェンジャ等の落下によって、物的損害・けがの原因になります。
- 器具の安全シールド（レンズ、ガラス等）を取り外して使用しないでください。
ランプの破裂などにより破片等が落下し、火災・やけどの原因となります。
- 紙フィルタホルダは、適合品を使用し位置ずれに注意してください。
位置ずれがあると火災の原因となります。
- 地震などの天災の後、再使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が、点検を行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。

5. 保守点検について

- 器具は、日常点検を実施してください。点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置してください。
- 器具の点検（整備）は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- ランプ交換、部品交換、清掃時は、必ず電源を切ってください。
電源を切らないと感電することがあります。
- 電源コード、接続器は日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
感電・火災の原因となることがあります。
- 冷却ファンは、埃などでふさがっていないか日常点検し、清掃してください。
器具の故障・火災の原因となります。

⚠ 注意

- 安全シールドに亀裂がないか日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
ランプの破裂などにより破片が落下し、火災・やけどの原因となります。
- ランプチェック、リフレクタは点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
感電・故障の原因となることがあります。
- レンズの清掃は、レンズに傷をつけないように取扱説明書に従って実施してください。
レンズの破損・けがの原因となります。
- 器具のネジ類は、振動等で緩む場合があります取扱説明書に基づき処置してください。
故障、落下による物的損害・けがの原因となります。
- 埃や紙吹雪が溜まったままで使用しないでください。
火災の原因となります。
- ランプの取扱いは、ランプの取扱説明書または注意書きをよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- ランプは、指定されたランプを使用してください。
指定以外（適合しない）のランプを使用すると、器具の破損・ランプの破裂の原因となります。
- ランプの装着は、ランプチェック及び高圧リード線端子口に確実に装着してください。
確実に装着されないとランプ・ランプチェック、スタータの破損の原因となります。
- 交換部品は、弊社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。
器具の機能劣化・故障・感電・火災の原因となります。
- 日常点検の他に弊社や専門家による定期点検を実施してください。
器具の機能劣化・故障・感電・火災の原因となります。

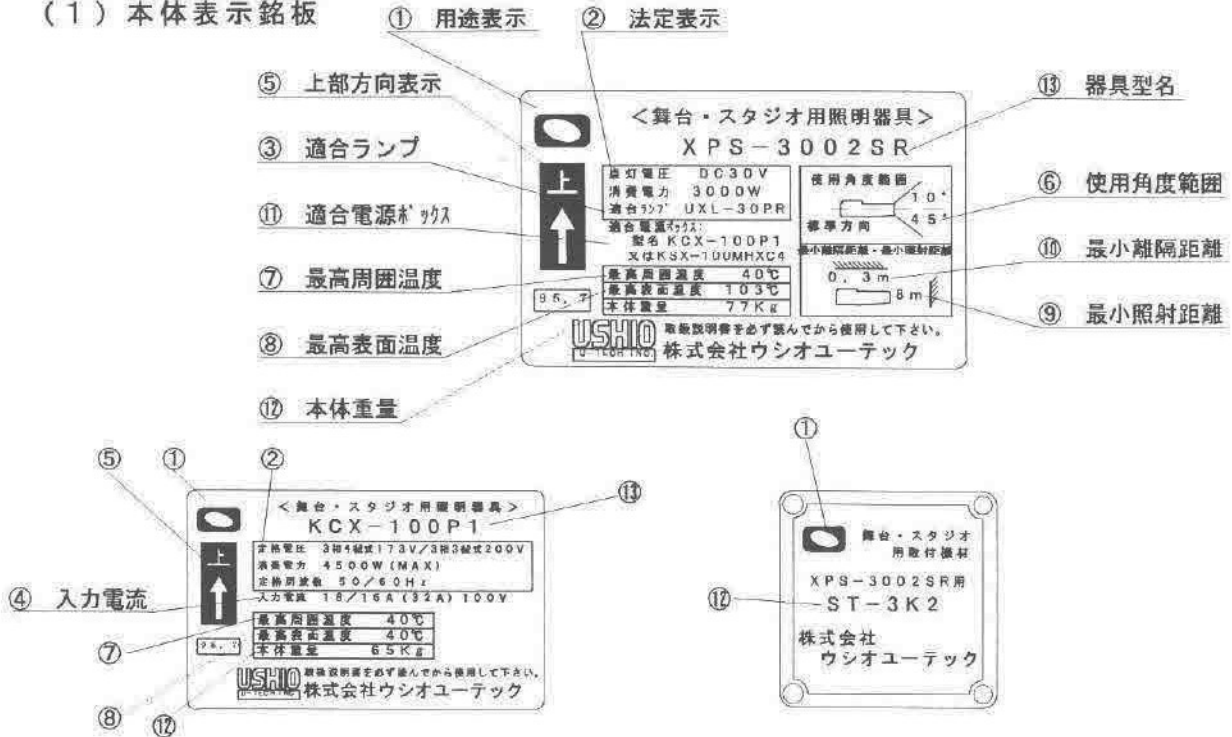
6. 保管時について

- 埃の多い場所や湿度が高く、結露しやすい環境に保管しないでください。
故障・絶縁不良の原因となります。
- 安全シールドに損傷を与えないように保管してください。
安全シールドの効力をなくす原因となります。
- 再使用するときは、点検を必ず行ってから使用してください。
感電・火災の原因となるおそれがあります。

3. 本体表示銘板と表示内容

照明器具の本体に下記の銘板を表示してあります。
取扱の時には、必ず内容を確認のうえ、安全にご使用ください。

(1) 本体表示銘板



(2) 表示内容

- ①用途表示 : 「演出空間用照明器具」であることを表します。
演出空間の用途以外では使用しないでください。
- ②法定表示 : 電気用品取締法の規定による「製造事業者名」「定格電圧」「定格消費電力」「定格周波数」を表示しています。
- ③適合ランプ : 適合ランプを商品型名で表示しています。
- ④入力電流 : 入力電流に基づく入力情報を定格電流、始動電流及び定格電圧を表示しています。
- ⑤上部方向表示 : 照明器具の上方向を表示しています。必ず矢印の方向を上にして取付けてください。
- ⑥使用角度範囲 : 基準方向の対する使用角度の許容範囲を表示しています。
許容範囲内で使用してください。
- ⑦最高周囲温度 : 通常の使用状態で連続動作させてもよい最高周囲温度を表示しています。
- ⑧最高表面温度 : 使用角度範囲において連続点灯したときの外面温度の最高値を表示しています。
- ⑨最小照射距離 : 通常連続点灯させたとき、被照射対象物（黒色ボード）の温度が90度に達する最小距離を表示しています。
- ⑩最小離隔距離 : 通常連続点灯させたとき、可燃物（黒色ボード）の温度が90度に達する最小距離を表示しています。
- ⑪適合電源ボックス : 照明器具に適した電源ボックスを表示しています。
- ⑫本体重量 : 付属品を含まない照明器具本体（電球を含む）重量を表示しています。
- ⑬器具型名 : 型式名称を表示しています。

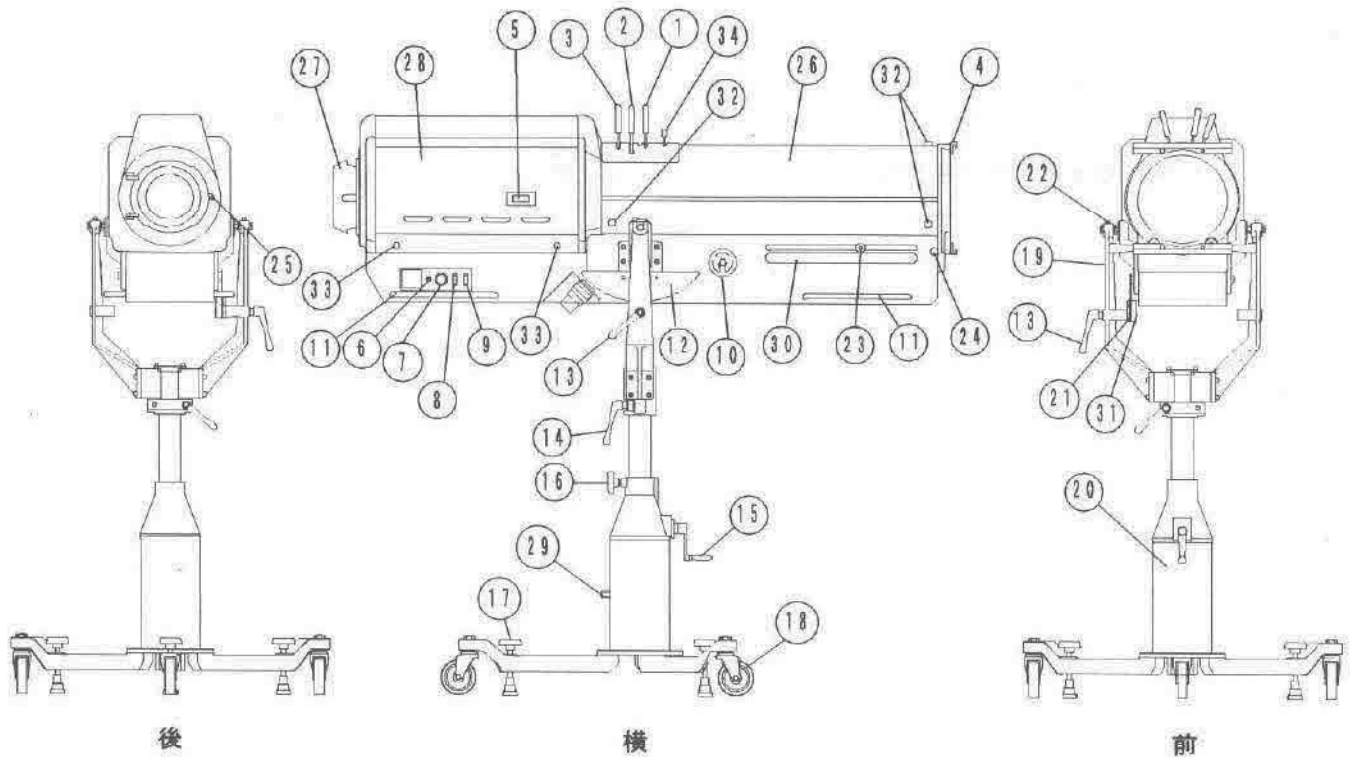
4. 機器構成

①灯体	XPS-3002SR
②スタンド	ST-3K2 (昇降型) ST-3KT2 (折畳型)
③電源ボックス (整流器)	KCX-100P1 (据置型) KSX-100MHXC4 (移動型)
④適合ランプ	UXL-30PR
⑤リフレクタ	XPM-3P
⑥カラーチェンジャ (バランスウエイ付)	XCC-6XA-10" C (オプション)
⑦ソフトフォーカス機構	ソフトフォーカスASS'Y (オプション)

注) 以後、電源ボックスを整流器という。

4. 各部の名称

(1) 灯体 (XPS-3002SR)

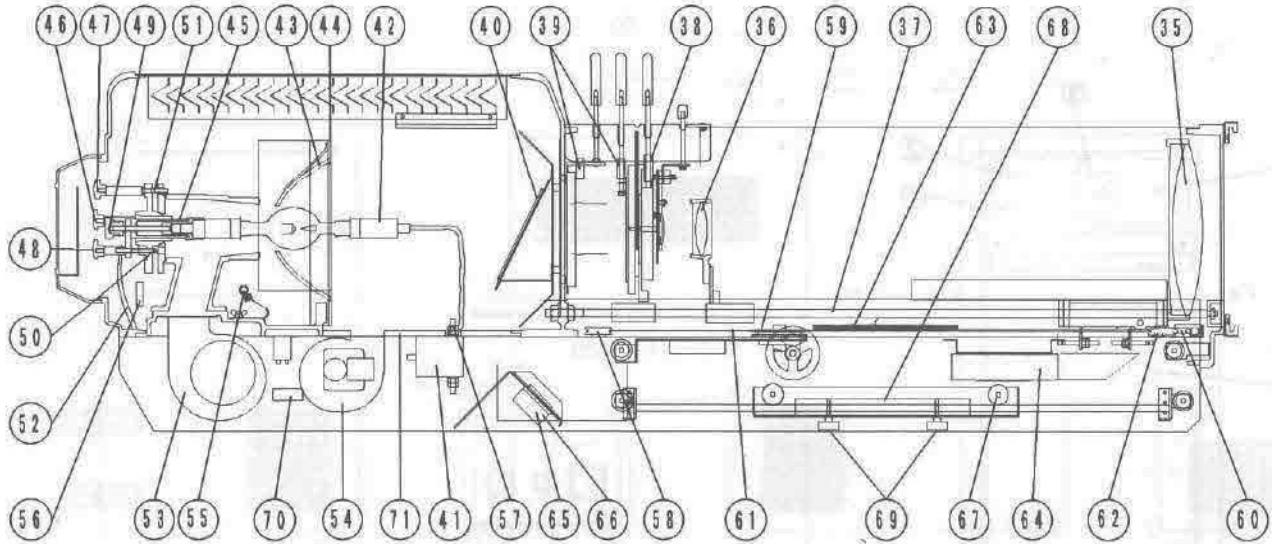


NO	名称	部品NO	NO	名称	部品NO
1	アイリスシャッタ (XI-12PHT)	3002SR-1	18	キャスタ	3002SR-18
2	カッタ (XC-321P8)	3002SR-2	19	スタンドアーム	3002SR-19
3	ドウサカッタ (XDC-3P)	3002SR-3	20	スタンド	3002SR-20
4	カラーチェンジャ取付枠	3002SR-4	21	パッキン	3002SR-21
5	窓ガラス	3002SR-5	22	ローレットビス	3002SR-22
6	受電表示ランプ	3002SR-6	23	ズームハンドル	3002SR-23
7	点灯押しボタンスイッチ	3002SR-7	24	ズーム調整ツマミ	3002SR-24
8	本体電源スイッチ	3002SR-8	25	六角穴付ツマミ	3002SR-25
9	フル/ハーフスイッチ	3002SR-9	26	前カバー	3002SR-26
10	焦点調整ハンドル	3002SR-10	27	後ドア	3002SR-27
11	操作用取手	3002SR-11	28	本体ドア	3002SR-28
12	舟形固定板	3002SR-12	29	ケーブル固定金具	3002SR-29
13	本体上下固定用ハンドル	3002SR-13	30	アクリル板	3002SR-30
14	本体左右固定用ハンドル	3002SR-14	31	固定ナット	3002SR-31
15	本体昇降ハンドル	3002SR-15	32	前カバー固定ビス	3002SR-32
16	パイプ固定用ハンドル	3002SR-16	33	本体ドア固定ビス	3002SR-33
17	スタンド固定ツマミ	3002SR-17	34	ソフトフォーカス機構 (オプション)	3002SR-34

(2) 灯体内部

器流型 (S)

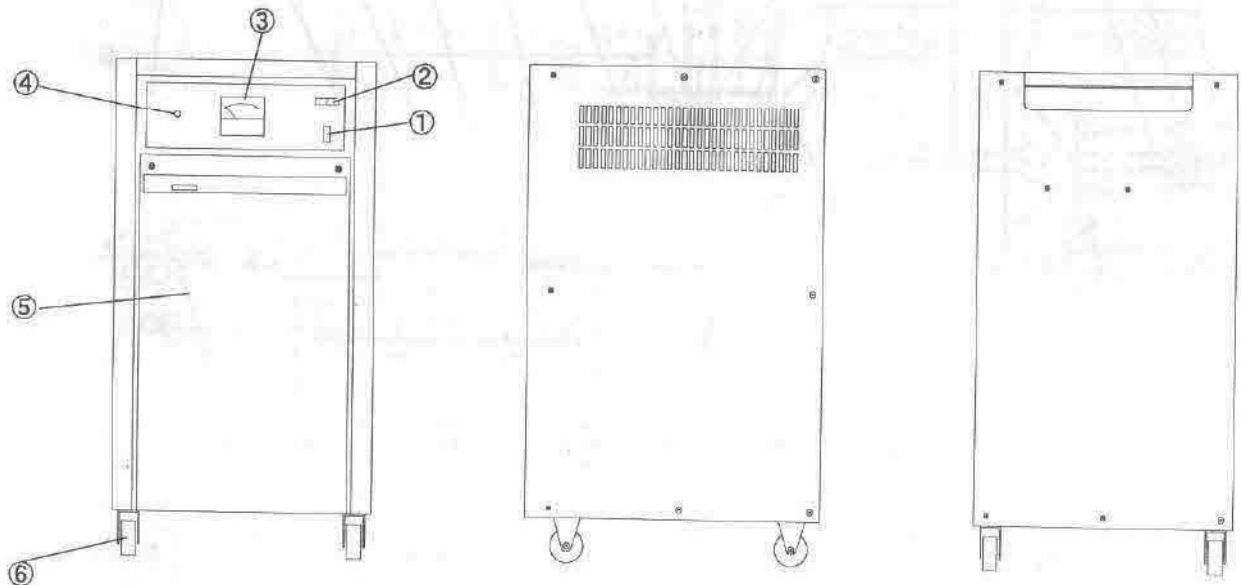
(19001-XD)(16)



NO	名称	部品NO	NO	名称	部品NO
35	ズームレンズ (前玉)	3002SR-35	53	冷却ファン (BF-8S) (ランプ後方)	3002SR-53
36	ズームレンズ (後玉)	3002SR-36	54	冷却ファン (SJ-2003) (ランプ前方)	3002SR-54
37	ズームガイドシャフト	3002SR-37	55	アーク安定マグネット	3002SR-55
38	マイクロスイッチ (AM1501)	3002SR-38	56	ドアスイッチ (AF71545)	3002SR-56
39	マイクロスイッチ (AH71545)	3002SR-39	57	ナット (-極ランプリード線固定)	3002SR-57
40	熱線反射フィルタ	3002SR-40	58	ガイドブリー	3002SR-58
41	スタータアッセンブリ (SS-100GMX1)	3002SR-41	59	ズームブリー	3002SR-59
42	ランプ (UXL-30PR)	3002SR-42	60	ガイドブリー	3002SR-60
43	リフレクタ (XPM-3P)	3002SR-43	61	ズームワイヤ	3002SR-61
44	リフレクタ固定枠	3002SR-44	62	ガイドブリー	3002SR-62
45	チャック	3002SR-45	63	ズームスプリング	3002SR-63
46	ランプ左右調整ツマミ	3002SR-46	64	冷却ファン (B530-2) (フィルタ用)	3002SR-64
47	ランプ上下調整ツマミ	3002SR-47	65	ワンタッチコネクタ (大) (DC入力用)	3002SR-65
48	ランプ前後調整ツマミ	3002SR-48	66	ワンタッチコネクタ (小) (操作回路用)	3002SR-66
49	チャック締付ツマミ	3002SR-49	67	バランスウエイトブリー	3002SR-67
50	スプリング	3002SR-50	68	バランスウエイト	3002SR-68
51	スプリング	3002SR-51	69	バランスウエイト固定ビス	3002SR-69
52	+極リード線	3002SR-52	70	アワメータ (オプション)	3002SR-70
			71	キットベーク板	3002SR-71

(3) 整流器

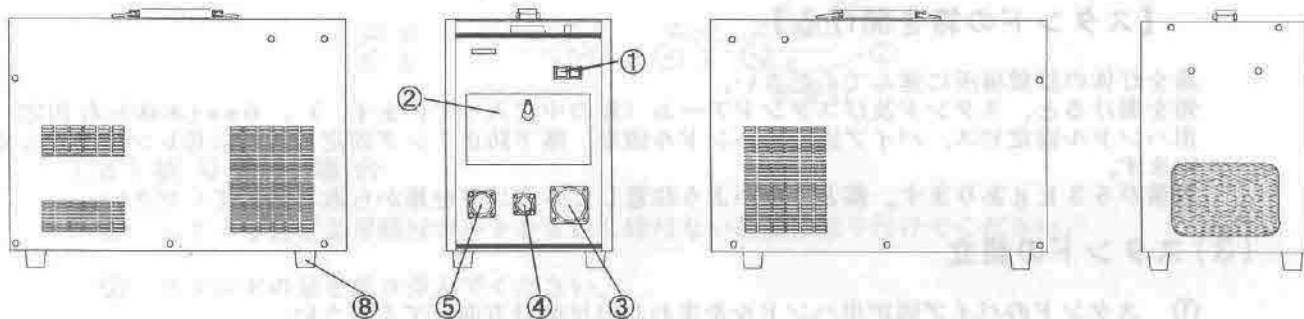
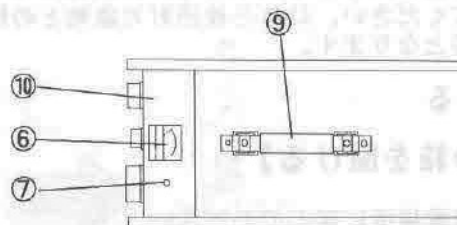
(a) KCX-100P1



NO	名称	NO	名称
1	電源スイッチ	4	過電流表示灯 (SL2) (SEL-152R)
2	受電運転表示灯 (SL1)(BN10-2C T-R AC 220V)	5	前面ドア
3	直流電流計 (DA) (DC100A 60MV)	6	キャスタ

ビートテセサの仕様

(b) K S X - 1 0 0 M H X C 4



NO	名称	NO	名称
1	電源スイッチ (BSL1) (LB15SKS1 AT-607-5V) W (BSL2) (LB15SKS1 AT-607-5V) R	5	入力コネクタ (CON1) (CIR-020R-28-6P-F80)
2	前面ドア	6	直流電流計 (DA) (100A/60MV)
3	出力コネクタ (CON2) (CIR-020R-32-5S-F80)	7	電流調整器 (VR) (0.3W 10KΩ)
4	操作コネクタ (CON3) (CIR-020R-16S-1S)	8	プラスチック足
		9	取手
		10	プラスチックカバー

6. 灯体のセッティング

(1) 設置場所

灯体は、周囲温度40℃以下の場所に設置してください。また、可燃物との間を0.3m以上離してください。灯体と被照射対象物との間は、8m以上離してください。火災の原因となります。

(2) 箱を開ける

【灯体の箱を開ける】

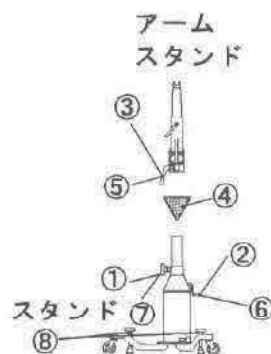
箱を灯体の設置場所に運んでください。
箱を開けると、灯体、4mm（本体ドア固定用ビス、六角穴付ツマミ用）の六角レンチが入っています。
重量が77kgあります。落とさないよう注意して灯体を箱から取り出してください。

【スタンドの箱を開ける】

箱を灯体の設置場所に運んでください。
箱を開けると、スタンド及びスタンドアーム（箱の中に入っています。）、6mm（本体左右固定用ハンドル固定ビス、パイプ固定用ハンドル固定、落下防止リング固定ビス）六角レンチが入っています。
重量が53kgあります。落とさないよう注意してスタンドを箱から取り出してください。

(3) スタンドの組立

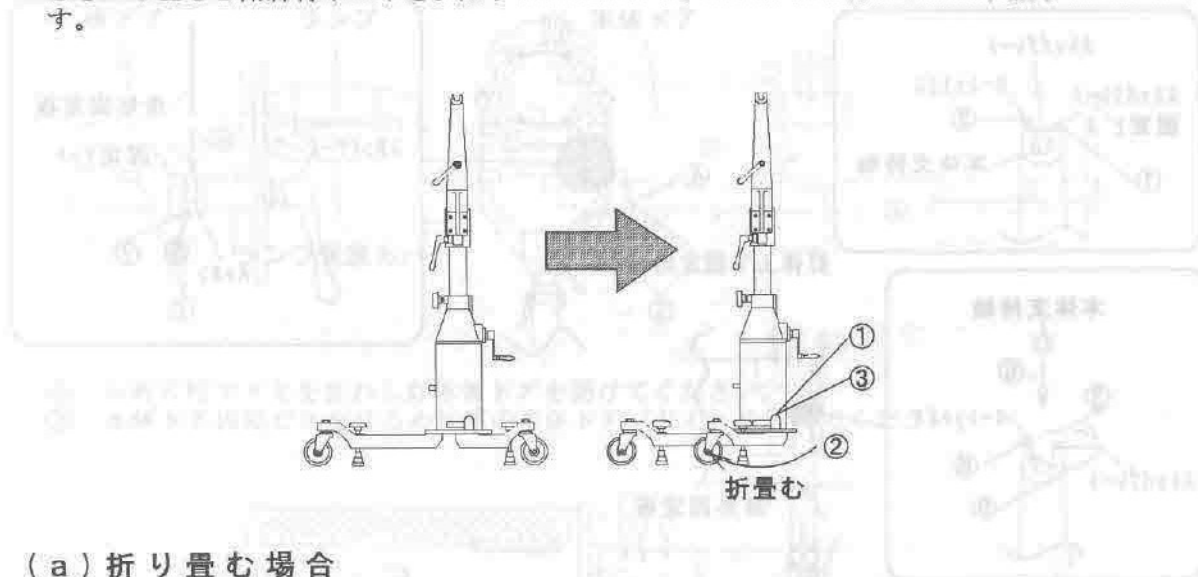
- ① スタンドのパイプ固定用ハンドルをまわし（反時計方向）てください。
- ② スタンド昇降ハンドルをまわしスタンドアームを固定する高さにしてください。
- ③ スタンドアームの本体左右固定用ハンドルをまわし（反時計方向）てください。
- ④ スタンドアームをスタンドのパイプにしっかりと差込んでください。
- ⑤ スタンドアームの本体左右固定用ハンドルをまわし（時計方向）てください。
- ⑥ スタンド昇降ハンドルをまわし灯体を設置する高さに調整してください。
- ⑦ スタンドのパイプ固定用ハンドルをまわし（時計方向）てください。
- ⑧ スタンド固定ツマミをまわしスタンドの設置位置に固定してください。



(4) スタンドの折り畳み方法 (オプション)

立脚の可変式カメラ装置(2)

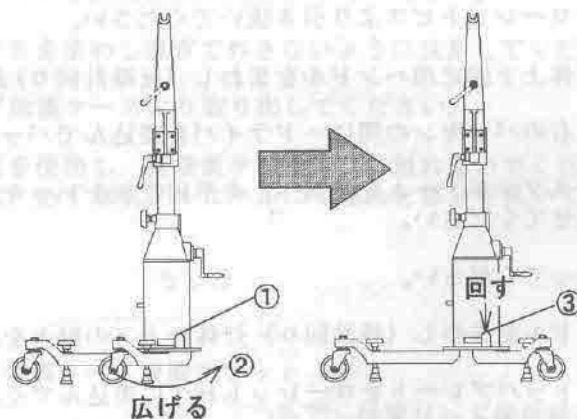
ST-3KT2用締付ボルトを使用することにより、スタンドを折り畳んで収納することができます。



(a) 折り畳む場合

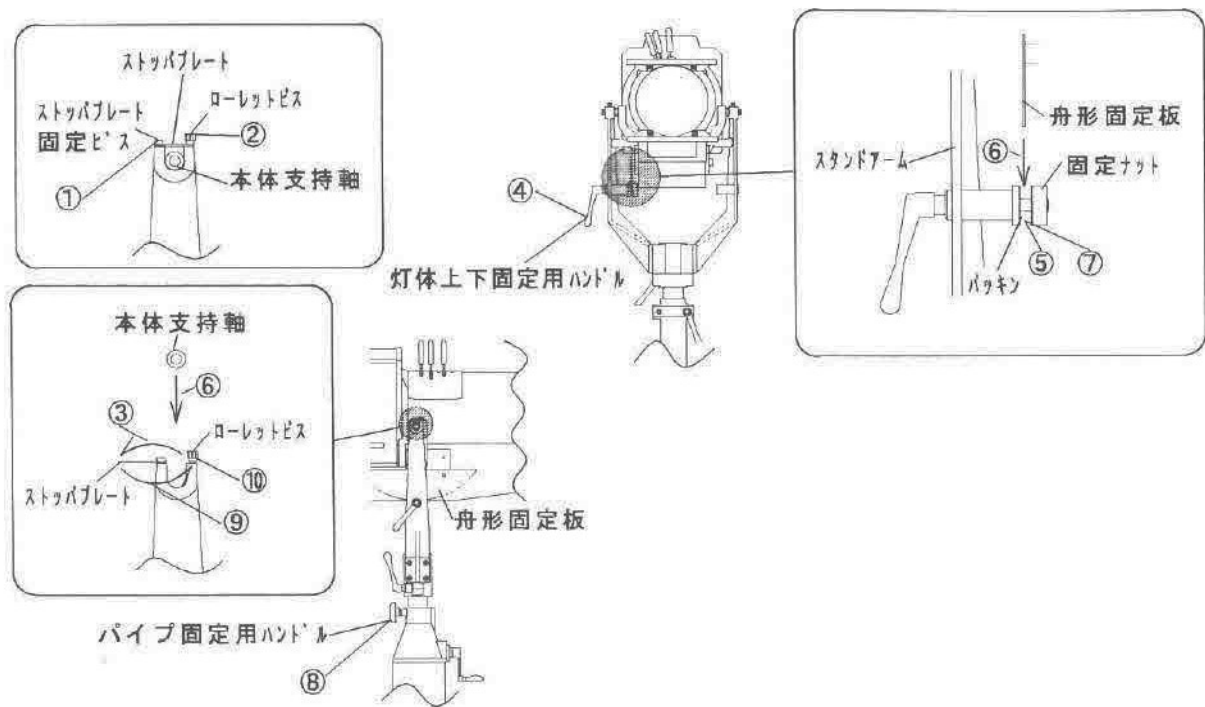
- ① ST-3KT2用締付ボルトをまわし締付ない程度に取り付けてください。
- ② スタンドの足を折り畳んでください。
- ③ ST-3KT2用締付ボルトをまわししっかりスタンドの足を固定してください。

(b) 使用する場合



- ① ST-3KT2用締付ボルトをまわし(まわし過ぎて外れない程度に)緩めてください。
- ② スタンドの足を完全に広げてください。
- ③ ST-3KT2用締付ボルトをまわししっかりスタンドの足を固定してください。

(5) 灯体とスタンドの組立

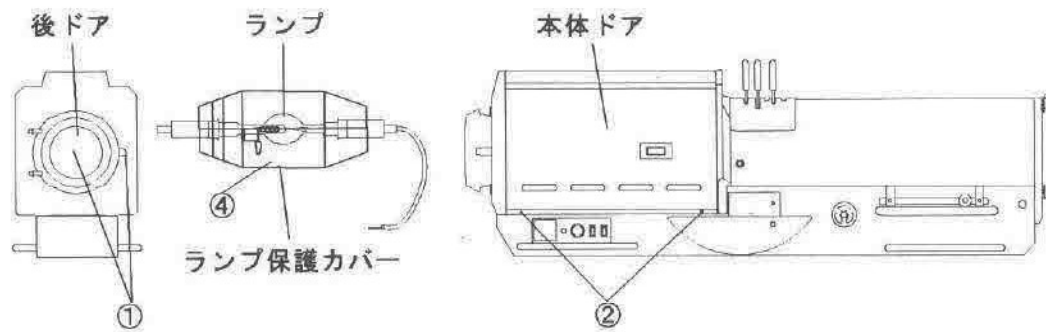


- ① スタンドアームのストッププレート固定ビスをゆるめてください。
- ② ローレットビスをゆるめてください。
- ③ ストッププレートをローレットビスより引き抜いてください。
- ④ スタンドアームの灯体上下固定用ハンドルをまわし（反時計回り）ある程度ゆるめてください。
- ⑤ スタンドアームの左右のパッキンの間にードライバを差込んでパッキンの間を広げてください。
- ⑥ 灯体の本体支持軸をスタンドアーム先端部へ、舟形固定板をパッキン部へ差込みながら灯体をスタンドアームへ乗せてください。
- ⑦ ードライバを抜き取ってください。
- ⑧ 本体上下固定用ハンドルをまわし（時計回り）灯体の上下の動きを固定してください。
- ⑨ スタンドアームのストッププレートをローレットビスに差込んでください。
- ⑩ ローレットビスを締付けてください。

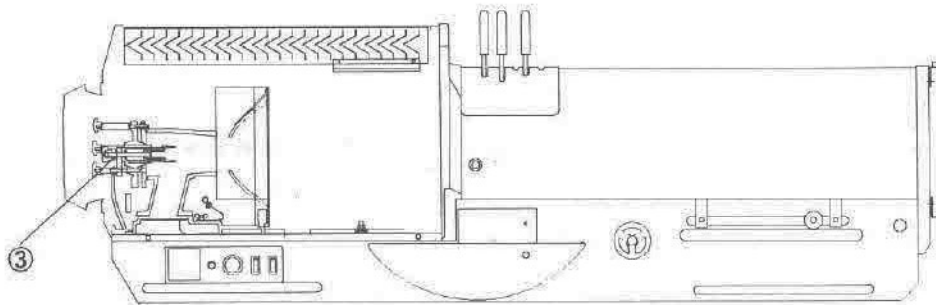
注) 転倒防止ワイヤ取付支持軸を取り付ける場合は、灯体とスタンドの組立を行う前に行ってください。

(P-54:【転倒防止ワイヤ取付支持軸の取付方法】を参照ください。)

(6) ランプの取付



- ① 六角穴付ツマミをまわし灯体後ドアを開けてください。
- ② 本体ドア固定ビスをゆるめ灯体の本体ドア（左右）を開けてください。

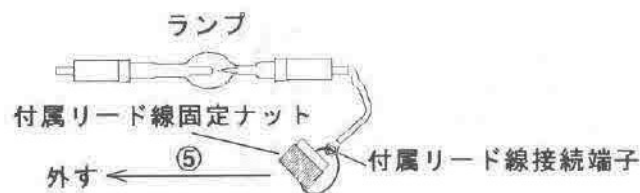


- ③ チャック締付ツマミを反時計回りにまわしてください。

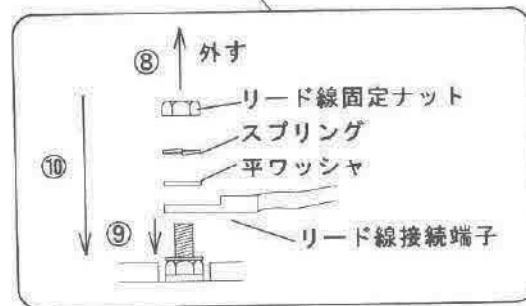
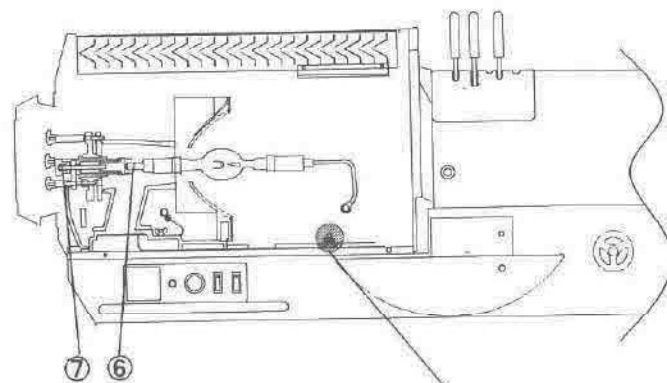
注) チャック締付ツマミをまわし過ぎて外さないように注意してください。

- ④ ランプをランプ保護ケースより取り出してください。

注) 必ず乾いた布などを使用し、直接素手でランプに触れないでください。
万一触れた場合は、必ず無水アルコールにて触れた部分を拭いてください。



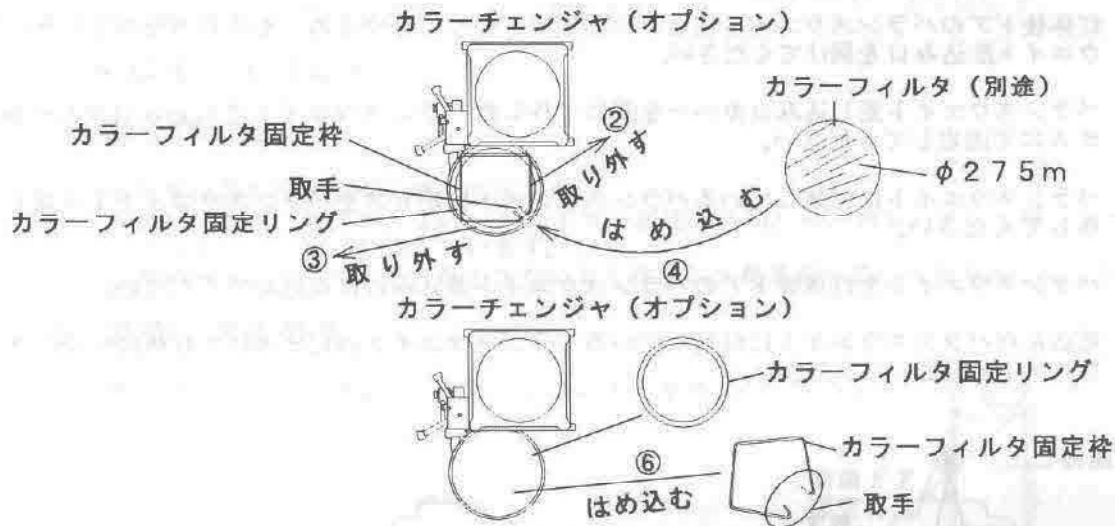
- ⑤ ランプのリード線接続端子に付属している付属リード線固定ナットをリード線接続端子より取り外してください。



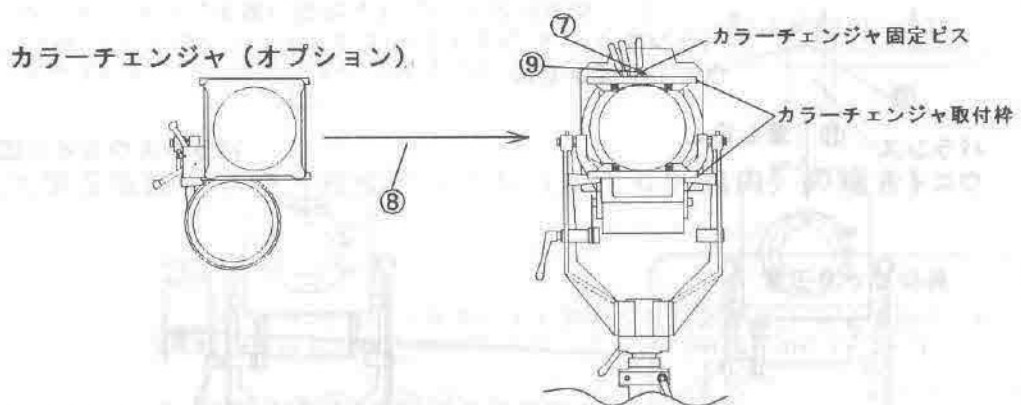
- ⑥ ランプの⊕側の口金をチャックにしっかり差込んでください。
 - ⑦ チャック締め付けつまみを時計方向にまわしランプをしっかり固定してください。
 - ⑧ リード線固定ナット、スプリング、平ワッシャを取り外してください。
 - ⑨ リード線接続端子を高圧リード線接続端子口にはめ込んでください。
 - ⑩ スパナなどを使用し付属リード線固定ナット、スプリング、平ワッシャを高圧リード線接続端子口にはめ込み、リード線接続端子を手で外れない程度にしっかり固定してください。
- 注) ランプのリード接続端子を固定する際、ランプのリード線を灯体の金属面より出来るだけ遠ざけて固定してください。
 遠ざけないと高圧リークによるランプ不点灯の原因となります。
 ランプを素手で触れないでください。
 万一触れた場合は、必ず無水アルコールにて触れた部分を拭いてください。
 ランプの+/-を確認した上でランプを取付けてください。
 +/-を逆に取付けたままでランプを点灯させると一瞬にしてランプが点灯できなくなってしまいます。
 ランプのチャック締め付け、リード接続端子がしっかり接続されていないと、接触不良が生じ接続部分が焼け、故障、火災の原因となります。
 ランプのリード接続端子に付属している付属リード線固定ナットは、仮設による使用の際使用してください。

(7) カラーチェンジャの取付 (オプション)

- ① カラーチェンジャ (オプション) を梱包より取り出してください。



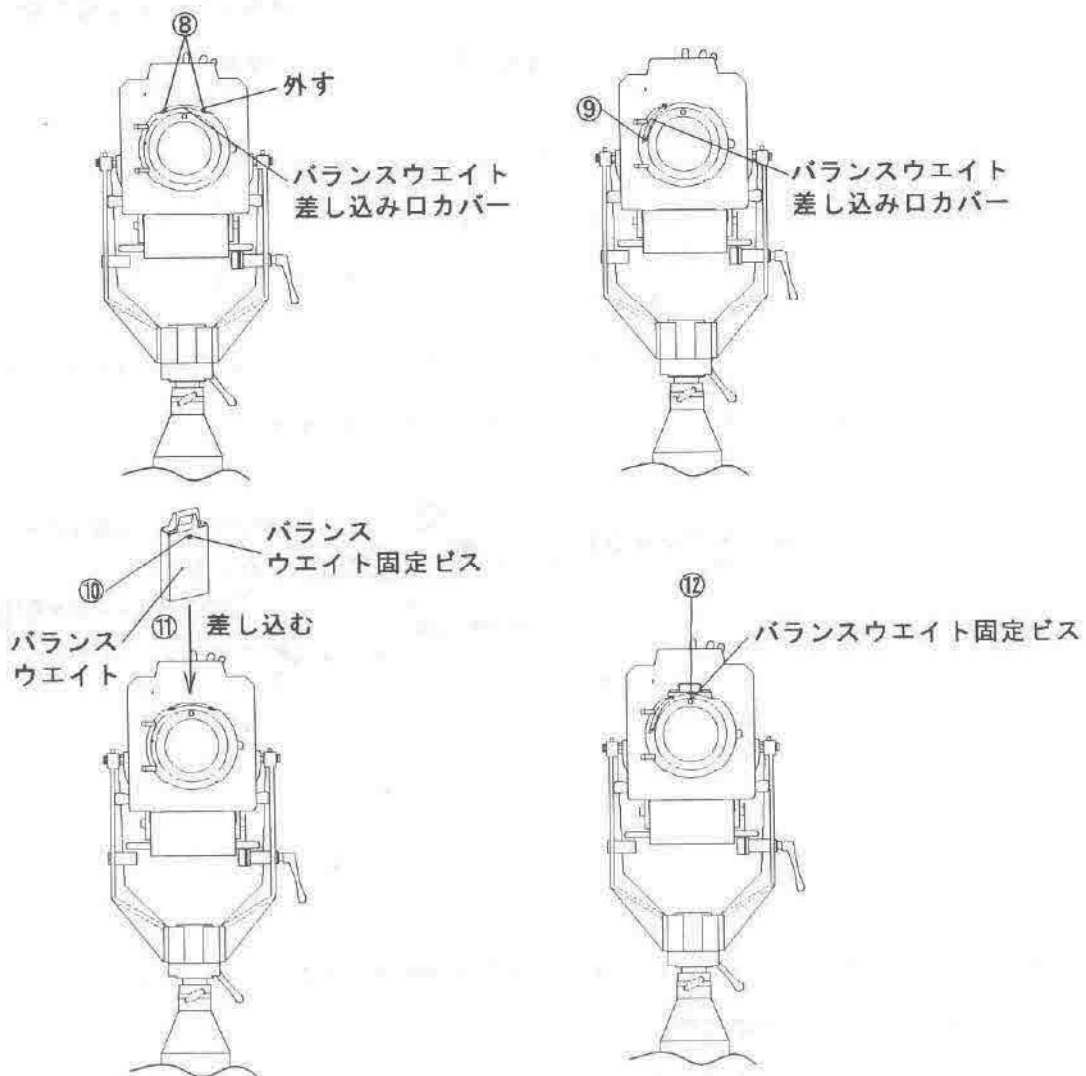
- ② カラーフィルタ固定枠の取手部をつまみカラーフィルタ固定枠を取り外してください。
- ③ カラーフィルタ固定リングを取り出してください。
- ④ 直径275mm (φ275mm) に切ったカラーフィルタ (別途) をカラーチェンジャ (オプション) にはめ込んでください。
- ⑤ カラーフィルタ固定リングをカラーチェンジャ (オプション) にはめ込んでください。
- ⑥ カラーフィルタ固定枠の取手部をつまみカラーチェンジャ (オプション) にはめ込んでください。



- ⑦ カラーチェンジャ固定ビスをまわし過ぎて外さない程度にまわしてください。
- ⑧ 灯体のカラーチェンジャ取付枠に差込んでください。
- ⑨ 灯体のカラーチェンジャ固定ビスをまわししっかり締付けてカラーチェンジャ (オプション) を固定してください。

カラーチェンジャの取付により灯体の前後バランスが変化します。
 バランスの変化により灯体が操作しにくい場合は、カラーチェンジャの梱包に同封されている
 バランスウエイトを灯体後ドアにセットしてください。

- ⑦ カラーチェンジャの梱包よりバランスウエイトを取り出してください。
- ⑧ 灯体後ドアのバランスウエイト差し込み口固定ビスの片方をゆるめ、もう片方を外しバランス
 ウエイト差し込み口を開けてください。
- ⑨ バランスウエイト差し込み口カバーを⑧にて外したバランスウエイト差し込み口カバー固定
 ビスにて固定してください。
- ⑩ バランスウエイトに付属しているバランスウエイト固定ビスをバランスウエイトより取り
 外してください。
- ⑪ バランスウエイトを灯体後ドアのバランスウエイト差し込み口に差込んでください。
- ⑫ 差込んだバランスウエイトに付属しているバランスウエイト固定ビスにて灯体にバランス
 ウエイトを固定してください。



7. 整流器のセッティング

(1) セッティング

設置場所は、周囲温度40℃以下の場所に設置してください。
また、左右側面、後面は壁や物から0.1m以上離して設置してください。
内部冷却が不足しますと故障の原因となります。

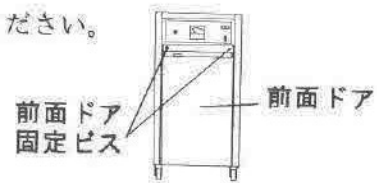
(a) K C X - 1 0 0 P 1

(a) 箱を開ける

箱を整流器の設置場所に運んでください。
箱を開けると、整流器、4mm (前面ドア固定ビス用) の六角レンチ、予備ヒューズ
(250V 5A) が入っています。
重量が65kgあります。落とさないよう注意して整流器を箱から取り出してください。

(b) 前面ドアを外す

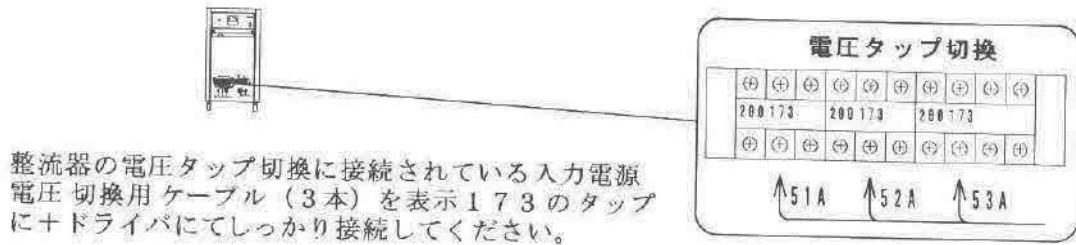
整流器の前面ドア固定ビスを外し、前面ドアを外してください。



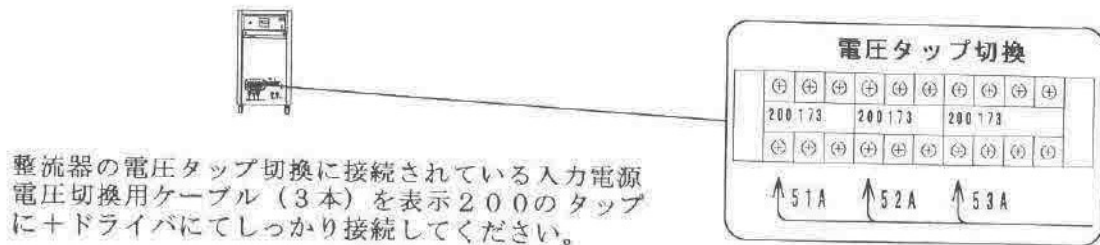
(c) 入力電源電圧の設定

注) 出荷時電源タップは、200V側に設定されています。

【入力電源電圧が3相4線式173V (±10%以内) の場合】



【入力電源電圧が3相3線式200V (±10%以内) の場合】



注) 3相3線200Vを使用する場合は、接地間150V以上となる為、配管などによって容易に配線などが手で触れないように配慮して接続してください。

(b) K S X - 1 0 0 M H X C 4

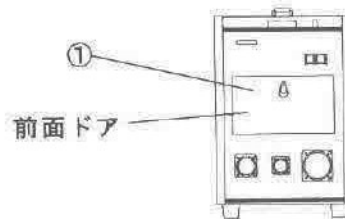
(a) 箱を開ける

箱を整流器の設置場所に運んでください。
箱を開けると、整流器、予備ヒューズ（ガラス管ヒューズ：250V 3A、平板ヒューズ：250V 50A）が入っています。
重量が28kgあります。落とさないよう注意して整流器を箱から取り出してください。

(b) 入力電源電圧の設定

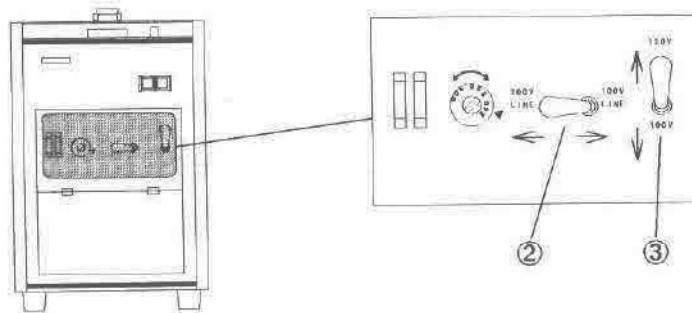
本整流器は、入力電源電圧により設定する必要があります。

注) 出荷時電源切り換えは、LINE切り換えスイッチを200V、TCHスイッチを240V側に設定されています。



① 整流器の前面ドアを開けてください。

【入力電源電圧100V/120V（±10%以内）の場合】

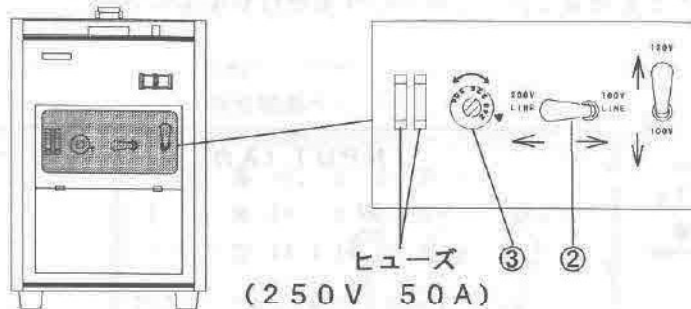


② 100V LINE/200V LINE 切換スイッチを100V LINE側に切り換えてください。

③ 100V/120V タップ切換スイッチを入力電源電圧100Vの場合は100V側に、120Vの場合は120V側にそれぞれの入力電源電圧に近い値に切り換えてください。

注) 100V系で使用する場合は、必ず100V用入力電源コネクタを使用してください。

【入力電源電圧200V/220V/240V(±10%以内)の場合】



② 100V LINE/200V LINE 切換スイッチを200V LINE 側に切り換えてください。

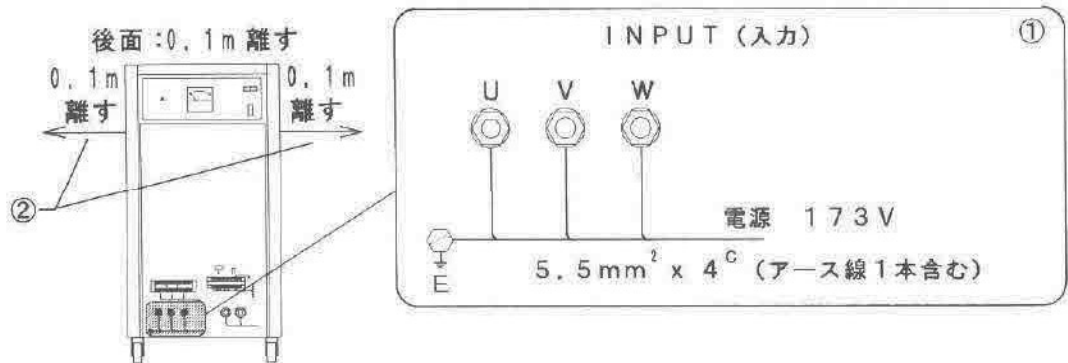
③ TCHスイッチを、入力電源電圧が200Vの場合は表示200が▲に来るように、220Vの場合は表示220が▲に来るように、240Vの場合は表示240が▲に来るようにそれぞれ入力電源電圧に近い値に設定してください。

注) 200V系で使用する場合は、必ず200V用入力電源コネクタを使用してください。
200V系で使用する場合は、必ず接地間150V以下となる単相3線式200Vを使用してください。

(2) 設置

電源がOFFになっていることを確認した上で以下の作業を行ってください。

(a) KCX-100P1

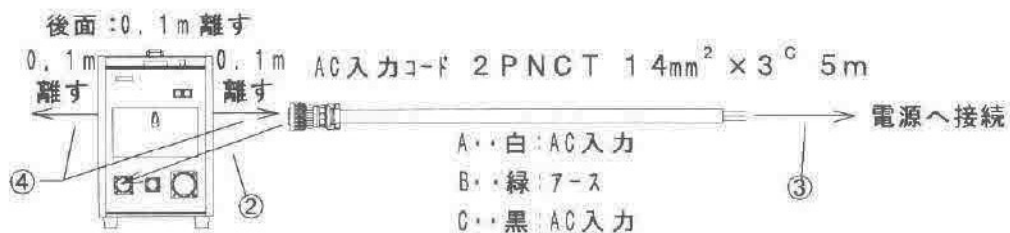


- ① 電源と接続済みのAC入力ケーブル（入力電源ケーブル）を整流器のINPUT（入力）端子にしっかり接続してください。

注）AC入力ケーブル（入力電源ケーブル）は、2PNCT 5.5mm² × 4^C（アース線1本含む）を使用してください。

- ② 整流器の側面、後面より強制換気を行っている為、壁面などから最低0.1m以上離してください。
- ③ 設置場所が確定したら、付属の固定金具で固定してください。
（P-53【整流器の固定方法】を参照してください。）

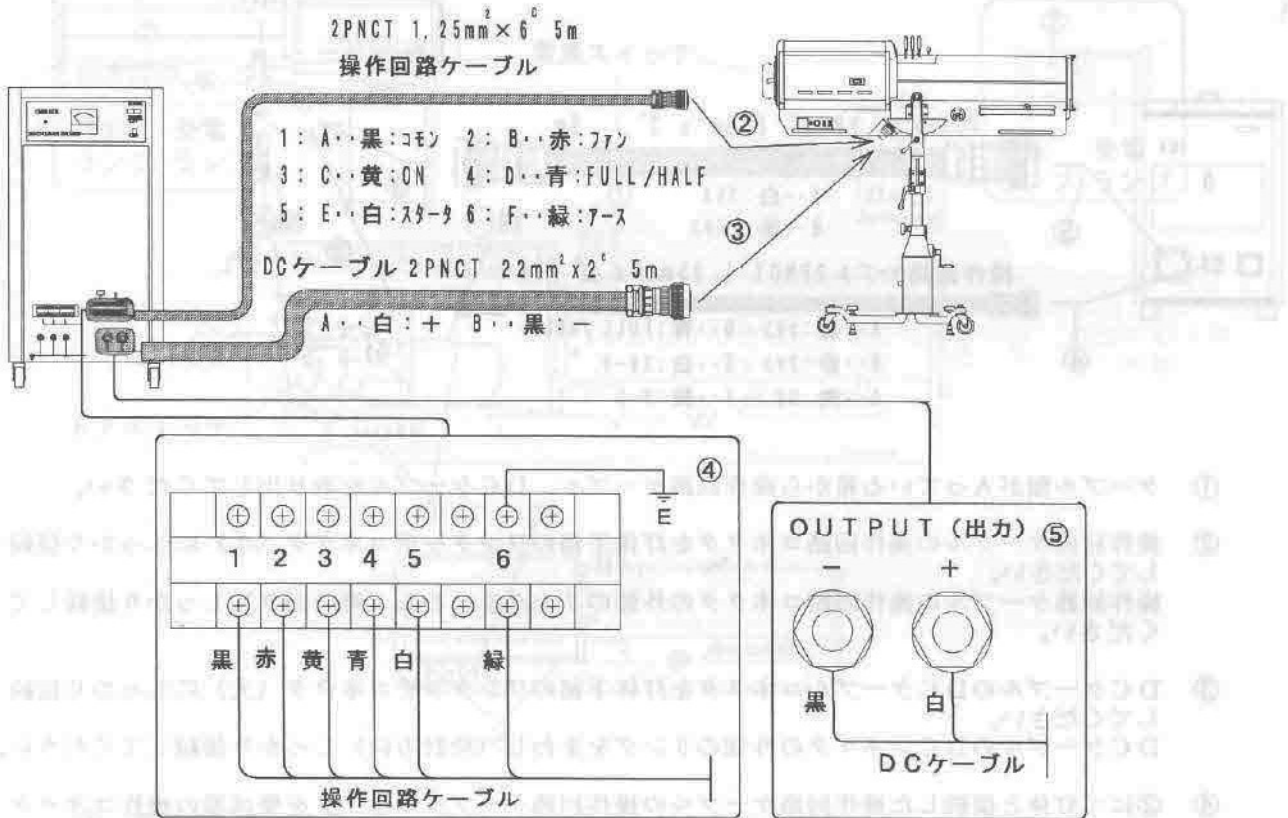
(b) KSX-100MHXC4



- ① 箱からAC入力ケーブル（入力電源ケーブル）を取り出してください。
- ② AC入力ケーブル（入力電源ケーブル）のAC入力コネクタ（入力電源コネクタ）を整流器の入力コネクタにしっかり接続してください。
AC入力ケーブル（入力電源ケーブル）のAC入力コネクタ（入力電源コネクタ）の外側のリングをまわし（時計回り）しっかり接続してください。
- ③ ②にて接続したAC入力ケーブル（入力電源ケーブル）を電源に接続してください。
- ④ 整流器の側面、後面より強制換気を行っている為、壁面などから最低0.1m以上離してください。

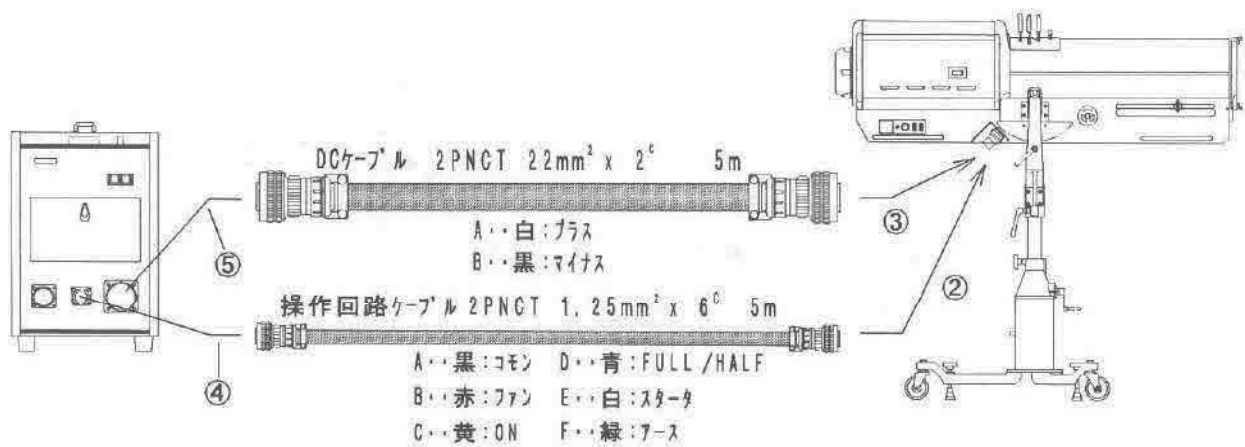
(3) 灯体と整流器の接続

(a) KCX-100P1



- ① ケーブル類が入っている箱から操作回路ケーブル、DCケーブルを取り出してください。
- ② 操作回路ケーブルの操作回路コネクタを灯体下部のワンタッチコネクタ（小）にしっかり接続してください。
操作回路ケーブルの操作回路コネクタの外側のリングをまわし（時計回り）しっかり接続してください。
- ③ DCケーブルのDCケーブルコネクタを灯体下部のワンタッチコネクタ（大）にしっかり接続してください。
DCケーブルのDCコネクタの外側のリングをまわし（時計方向）しっかり接続してください。
- ④ ②にて灯体と接続した操作回路ケーブルを整流器の操作回路端子台にしっかり接続してください。
- ⑤ ③にて接続したDCケーブルを整流器のOUTPUT（出力）端子にしっかり接続してください。

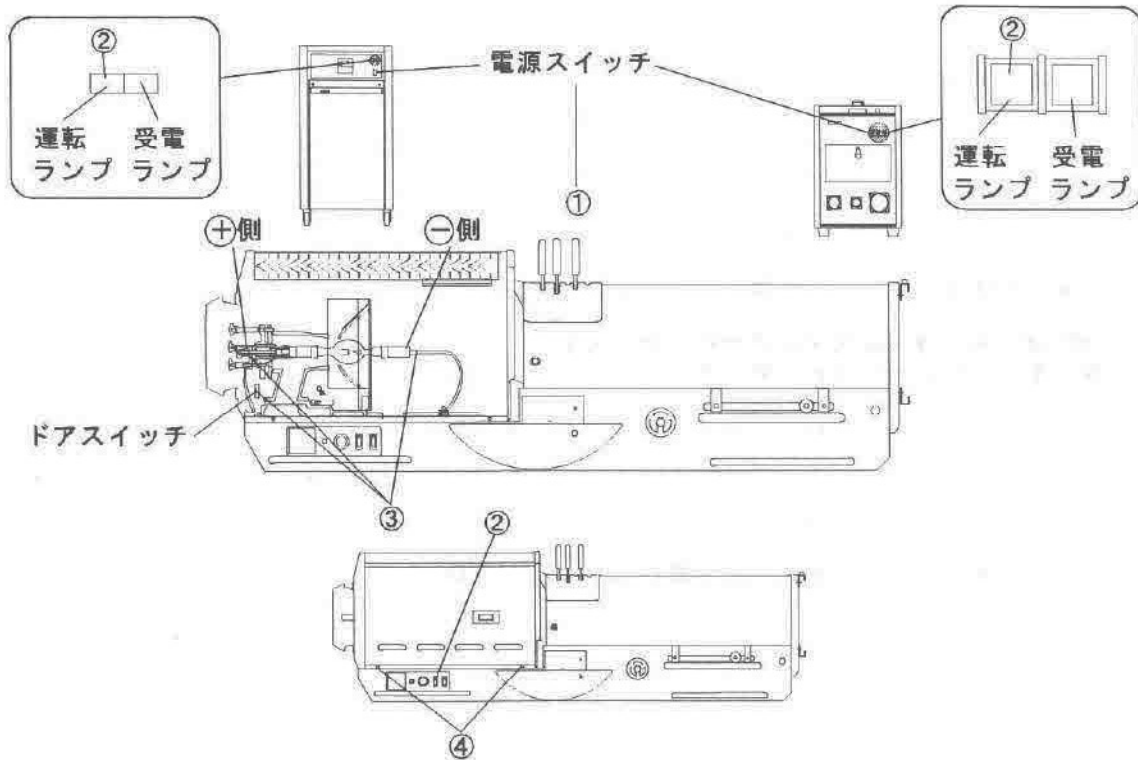
(b) K S X - 1 0 0 M H X C 4



- ① ケーブル類が入っている箱から操作回路ケーブル、DCケーブルを取り出してください。
- ② 操作回路ケーブルの操作回路コネクタを灯体下部のワンタッチコネクタ（小）にしっかり接続してください。
 操作回路ケーブルの操作回路コネクタの外側のリングをまわし（時計回り）しっかり接続してください。
- ③ DCケーブルのDCケーブルコネクタを灯体下部のワンタッチコネクタ（大）にしっかり接続してください。
 DCケーブルのDCコネクタの外側のリングをまわし（時計方向）しっかり接続してください。
- ④ ②にて灯体と接続した操作回路ケーブルの操作回路ケーブルコネクタを整流器の操作コネクタにしっかり接続してください。
- ⑤ ③にて接続したDCケーブルのDCケーブルコネクタを整流器の出力コネクタにしっかり接続してください。

8. 点灯準備と確認

ランプを点灯する前に必ず以下の確認を行ってください。



① 整流器の受電を確認し、電源スイッチをONにしてください。

注) KCX-100P1の場合は、運転ランプが点灯します。KSX-100MHXC4の場合は、整流器の電源を入力すると受電表示灯ランプが消灯し運転ランプが点灯します。

② 灯体の本体電源スイッチのON側を押してください。

③ ランプの+/-極性をテストにて確認してください。
灯体のドアを開け、ドアスイッチを押しながら、以下の操作を行ってください。
テストをDCレンジに設定し、(+側)リード線端子にテストの(+側)と(-側)リード線端子にテストの(-側)をあて測定値が(+の値)であることを確認してください。

注) 測定値が-の値である場合はDCケーブルの接続が+/-逆に接続されていないか確認してください。
KCX-100P1の場合はDC85V(+10V/-5V以内)、KSX-100MHXC4の場合は、DC130V以上が定格値です。

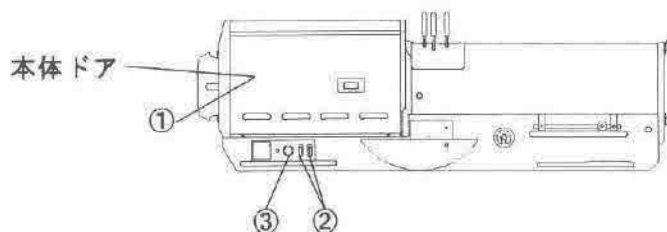
④ 灯体の本体ドア固定ビスをまわし本体ドアをしっかり閉めてください。

注) ドアにはドアスイッチがついておりドアが開いている場合は、ランプ点灯できません。

⑤ 灯体内の冷却ファンがランプを冷却しているか確認してください。

9. ランプ点灯

灯体及び整流器のセッティングが全て完了したことを確認してください。



① 灯体の本体ドアがしっかり閉じていることを確認してください。

注) ドアには、セーフティスイッチが付いています。
確実に閉じないとランプ点灯できません。

② 灯体の電源スイッチがONになっていることを確認し、フル/ ハーフスイッチのフル側を押し、フルに設定してください。

③ 灯体の点灯スイッチを押し、ランプを点灯させてください。

注) ランプ点灯中は、灯体の本体ドアを開けないでください。

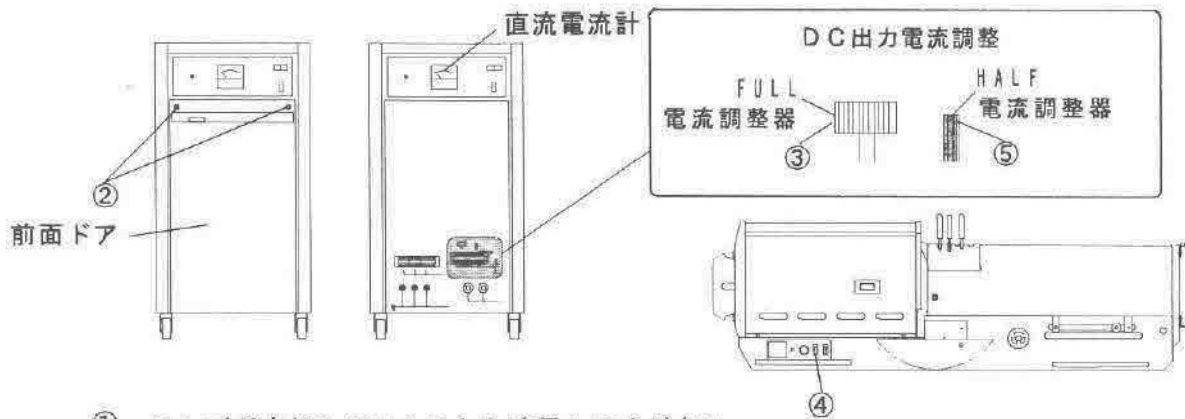
10. ランプ電流の調整

適合ランプ (UXL-30PR) の適正使用電流値は90A前後です。
適正使用電流値に電流値を設定してください。

注) 最大連続点灯電流値は、100Aです。

(1) KCX-100P1の場合

(a) FULL電流の調整方法



- ① ランプが点灯していることを確認してください。
- ② 前面カバー固定ビスを外し前面カバーを外してください。
- ③ 整流器内右下にあるFULL電流調整器のボリュームをまわし設定してください。設定値は、整流器の直流電流計に表示されます。

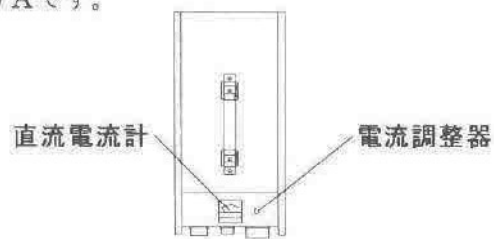
(b) HALF電流の調整方法

- ④ 灯体のフル/ハーフスイッチのハーフ側を押してください。
- ⑤ 整流器の右下にあるHALF電流調整器の軸棒をードライバにてまわし設定してください。設定値は、整流器の直流電流計に表示されます。ハーフ点灯時における適正使用電流値は40Aです。

(1) KSX-100MHXC4の場合

(c) FULL電流の調整方法

整流器の直流電流計横の電流調整器の軸棒を
ードライバにてまわし設定してください。
設定値は、整流器の直流電流計に表示されます。



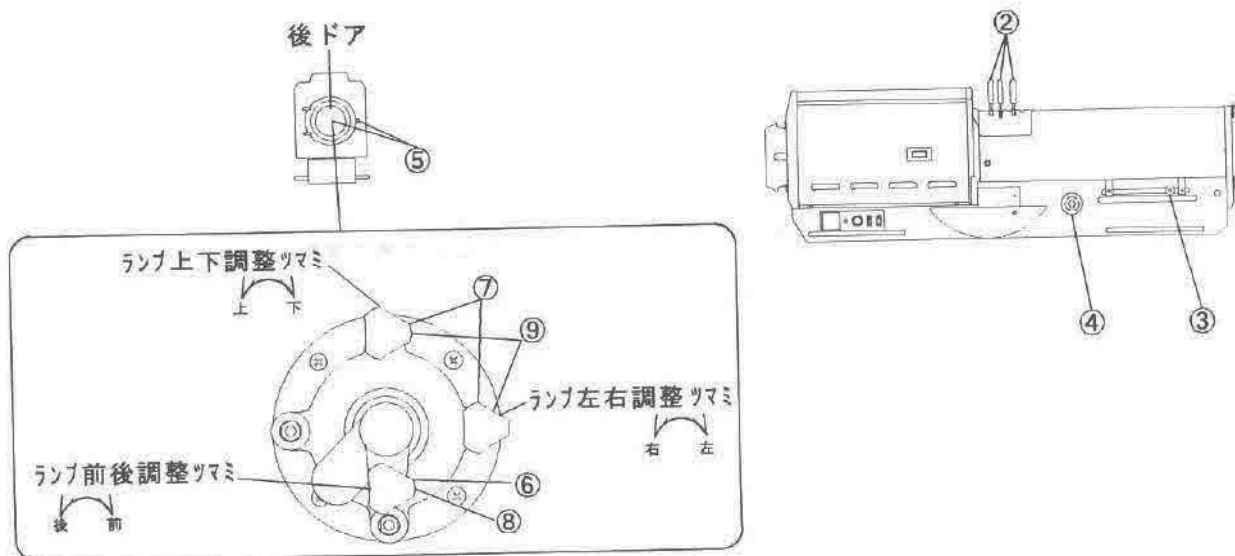
注) 適正使用電流値以上の電流をランプに入力するとランプが寿命が短くなります。

(d) HALF電流の調整方法

出荷時40Aに調整されている為HALF電流の調整は不要です。

1.1. 光学調整

(1) ランプ調整



- ① 灯体のランプが点灯していることを確認してください。
- ② アイリスシャッター、カット、ドウサカッタの各レバーを動かし全開にしてください。
- ③ ズームハンドルを動かし照射円を大き目に設定した後ズームハンドルをまわし固定してください。
- ④ 焦点調整ハンドルをまわし照射円のピントを合わせてください。
- ⑤ 六角穴付ツマミをまわし灯体後ドアを開けてください。
- ⑥ ランプ前後調整ツマミをまわし、照射円内に明るい部分を作ってください。
- ⑦ ランプ上下調整ツマミ及びランプ左右調整ツマミをまわし、照射円内の明るい部分を照射円の中心に移動させてください。
- ⑧ ランプ前後調整ツマミをまわし、照射円の光の分布を任意に調整してください。
- ⑨ 明るい部分の中心がずれていた場合は、再度ランプ上下調整ツマミ及びランプ左右調整ツマミをまわし、明るい部分を照射円の中心に移動させてください。

(2) リフレクタの調整

ランプ調整を行なっても光の分布が極度に不均等な場合、照射円内の明るさが極度に暗い場合は、リフレクタの調整が必要です。ご使用を控えて弊社へ問い合わせ願います。

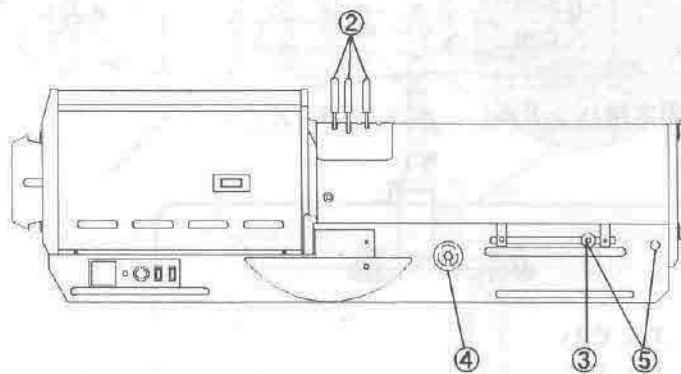
(3) アーク安定調整

ランプのアークが上または下に偏っている場合は、ご使用を控えて弊社へ問い合わせ願います。

(4) フォーカス調整

灯体のズームハンドルの移動による照射円のピントのズレをできるだけ少なくなるように調整してください。

- ① 灯体のランプが点灯していることを確認してください。
- ② アイリスシャッター、カッター、ドウサカッターの各操作レバーを動かし全開にしてください。
- ③ ズームハンドルを灯体後方に引いてください。
- ④ 焦点調整ハンドルをまわし照射円のピントを合わせてください。
- ⑤ ズームハンドルを灯体前方に移動させズーム調整つまみをまわし照射円のピントを合わせてください。
- ⑥ ③～⑤の操作を数回繰り返し行い、ズームハンドルの移動による照射円のピントのズレを出来るだけ少なくしてください。

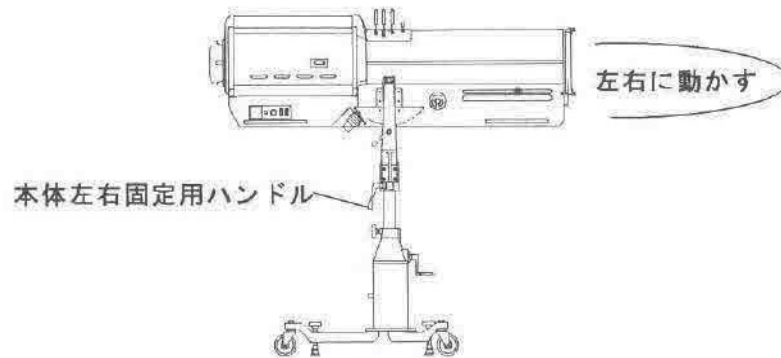


12. 各部の操作方法

(1) 灯体を動かす

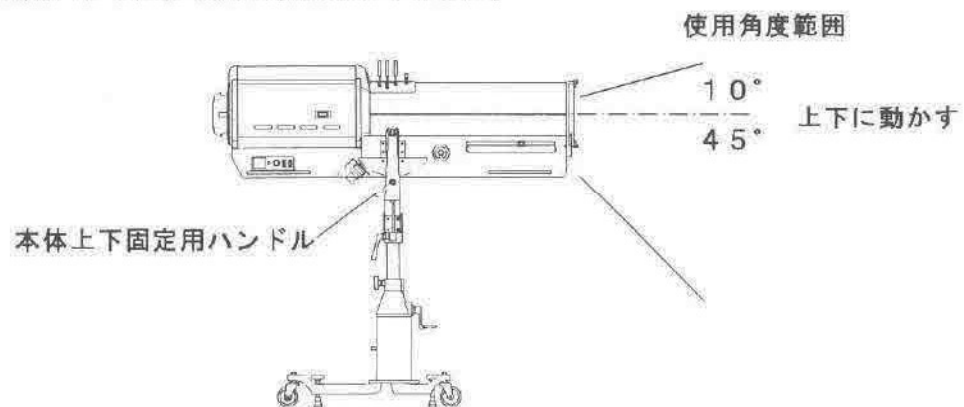
(a) 灯体を左右に動かす場合

本体左右固定用ハンドルをまわしゆるめてください。



(b) 灯体を上下に動かす場合

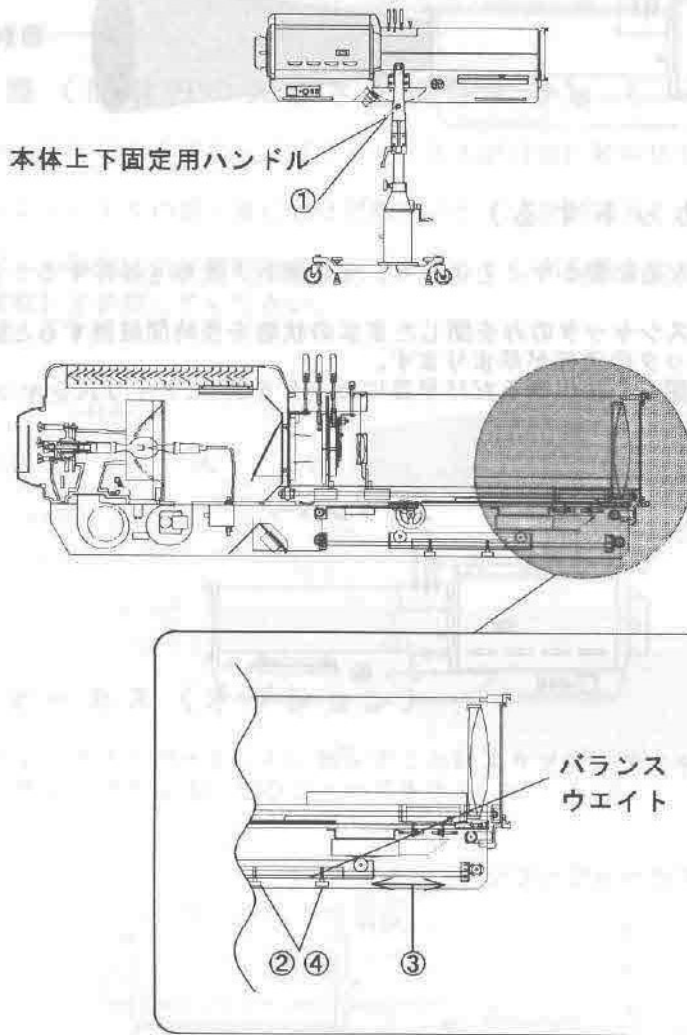
本体上下固定用ハンドルをまわしゆるめてください。



(c) 灯体のバランスを調整する場合

灯体を上下に動かす際、灯体の上下のバランスが悪く動かしにくい場合は、灯体のバランスウェイトを動かしてバランスを調整してください。

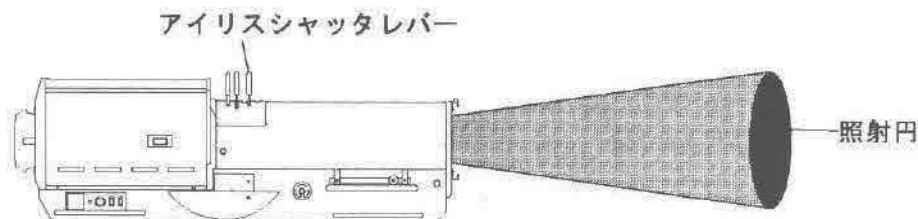
- ① 灯体が楽に動く程度に本体上下固定用ハンドルをゆるめてください。
- ② バランスウェイト固定ビスをまわしゆるめてください。
- ③ バランスウェイトを移動させ灯体の前後のバランスを調整してください。
- ④ バランスウェイト固定ビスをまわしバランスウェイトを固定してください。



(2) アイリスシャッタ (円の大きさを変える)

灯体のアイリスシャッタレバーを左右に動かすことにより、照射円の大きさを自由に操作することができます。

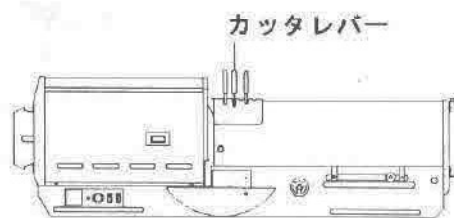
- 注) ランプ点灯中アイリスシャッタのみを閉じたままの状態を長時間維持するとランプの熱によりアイリスシャッタが焼けシャッタの消耗が早まります。
アイリスシャッタを閉じた後出来るだけ早目にカッタを閉じ、アイリスシャッタに直接熱を加えないようにしてください。



(3) カッタ (光をカットする)

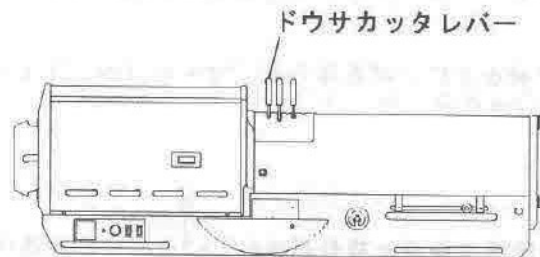
灯体のカッタレバーを左右に動かすことにより、光の照射/遮断を操作することができます。

- 注) ランプ点灯中アイリスシャッタのみを閉じたままの状態を長時間維持すると熱によりアイリスシャッタが焼けシャッタの消耗が早まります。
アイリスシャッタを閉じた後出来るだけ早目にカッタを閉じ、アイリスシャッタに直接熱を加えないようにしてください。



(4) ドウサカッタ (光の明るさを調整する)

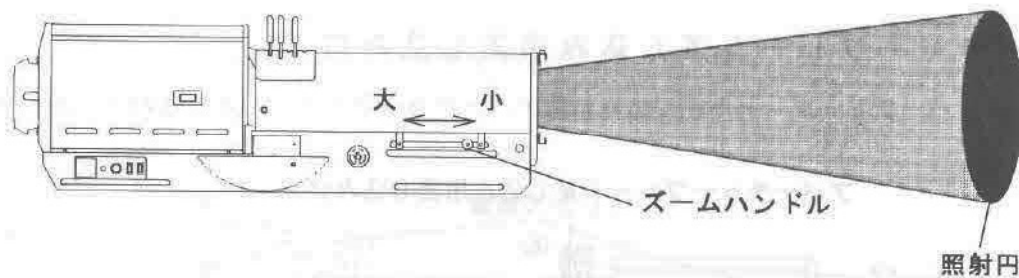
灯体のドウサカッタレバーを左右に動かすことにより、照射円の明～暗を操作することができ、光のフェードイン/フェードアウトを行なうことができます。



(5) ズーム調整 (照射円の大きさを調整する)

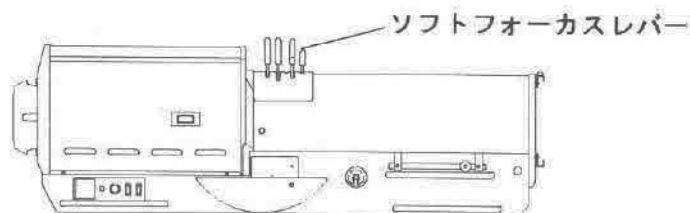
- ① 灯体のズームハンドルをまわし、ズームハンドルが自由に動かせる程度にゆるめてください。
- ② 灯体のズームハンドルの前～後に合せ照射円の小～大を制御することができます。

注) ズームハンドルの移動により照射円のピントがズレてしまう場合は、P-29【(4) フォーカス調整】を参照してください。



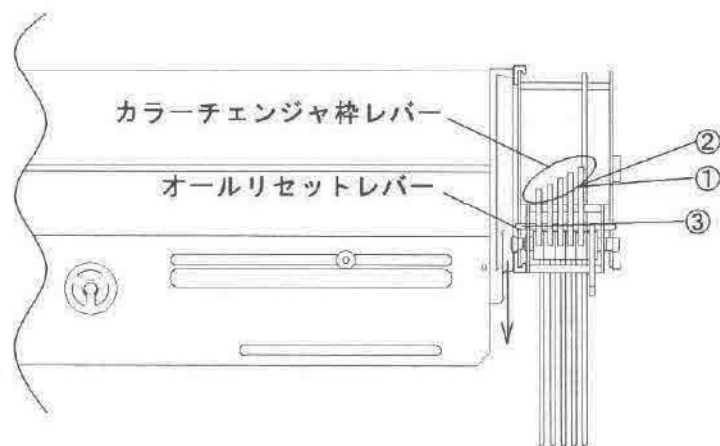
(6) ソフトフォーカス (オプション)

灯体のソフトフォーカスレバーを左右に動かすことによりソフトフィルタを出し入れすることができ、照射円全体をソフトな光にすることができます。



(7) カラーチェンジャー (オプション)

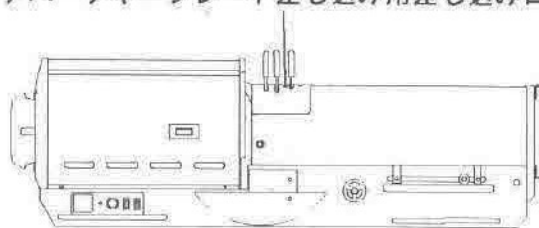
- ① カラーチェンジャー内のカラーフィルタ枠レバーを下に押すことにより、任意のカラーフィルタが上に上がり光に任意の色をつけることができます。
- ② 他のカラーフィルタ枠レバーを下に押すことにより、現在上に上がっているカラーフィルタ枠が下に下がります。
- ③ 全てのカラーフィルタ枠を下に下げる場合は、オールリセットレバーを下に押してください。



(8) アパーチャープレート差し込み用差し込み口

灯体のアパーチャープレート差し込み口にアパーチャープレートを差し込むことができます。

アパーチャープレート差し込み用差し込み口



1 3 . 終 了

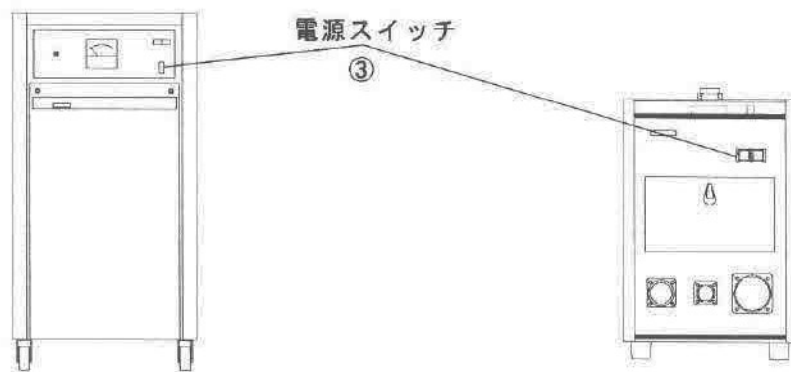
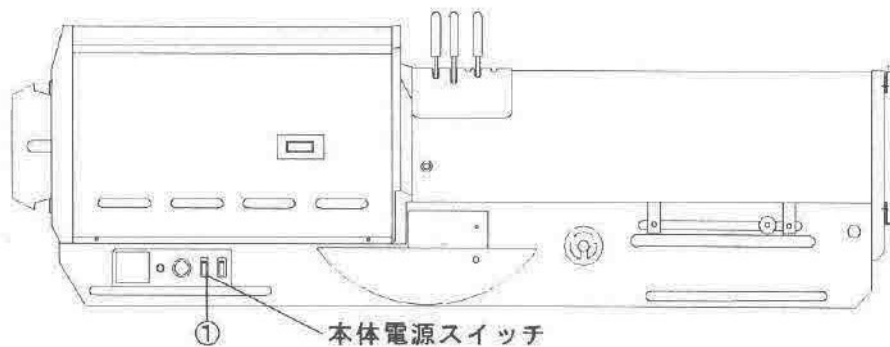
以下の手順で使用終了の作業を行なってください。

- ① 灯体の本体電源スイッチのOFF側を押しランプを消灯させてください。
- ② ランプ消灯後、整流器の電源をOFFにせずランプ冷却の為最低5分間は冷却ファンを動作させてください。

注) KCX-100P1の場合は、自動的に約5分間のファンタイマが働きランプが冷却されます。
KSX-100MHXC4の場合は、5分間整流器の電源をONにし続け、強制的にランプを冷却してください。

- ③ 整流器の電源スイッチをOFFにしてください。

注) 必ずランプ消灯後の最低5分間ランプ冷却を行なった後に整流器の入力電源をOFFにしてください。



14. メンテナンス

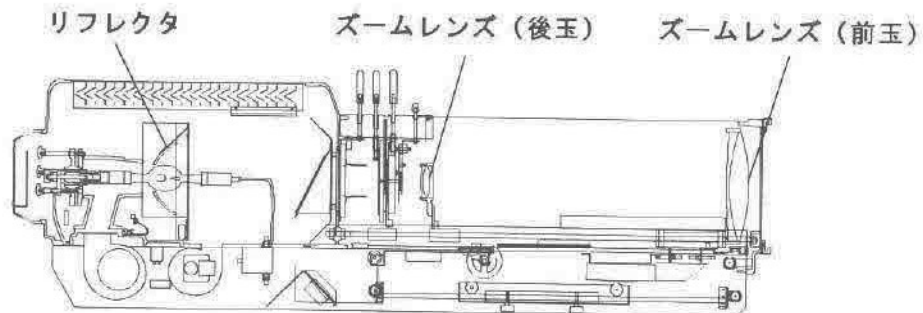
本製品を末長くご使用いただく為に、以下の作業を行なってください。

注) 必ず整流器の入力電源をOFFにしてから行なってください。

(1) レンズ及びリフレクタの清掃

ズームレンズ（前玉）、ズームレンズ（後玉）、リフレクタを乾いた柔らかい布で拭いてください。

注) 強く拭くとズームレンズ（前玉）、ズームレンズ（後玉）、リフレクタにキズがつく恐れがありますので注意してください。

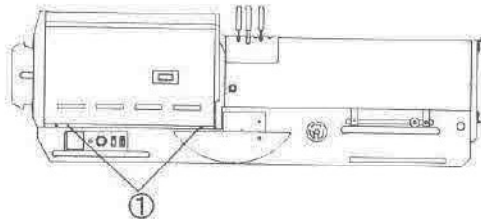


(2) ランプの交換及び点検

ランプに以下の現象が現れたらランプ（寿命に近づいている）を直ちに交換してください。

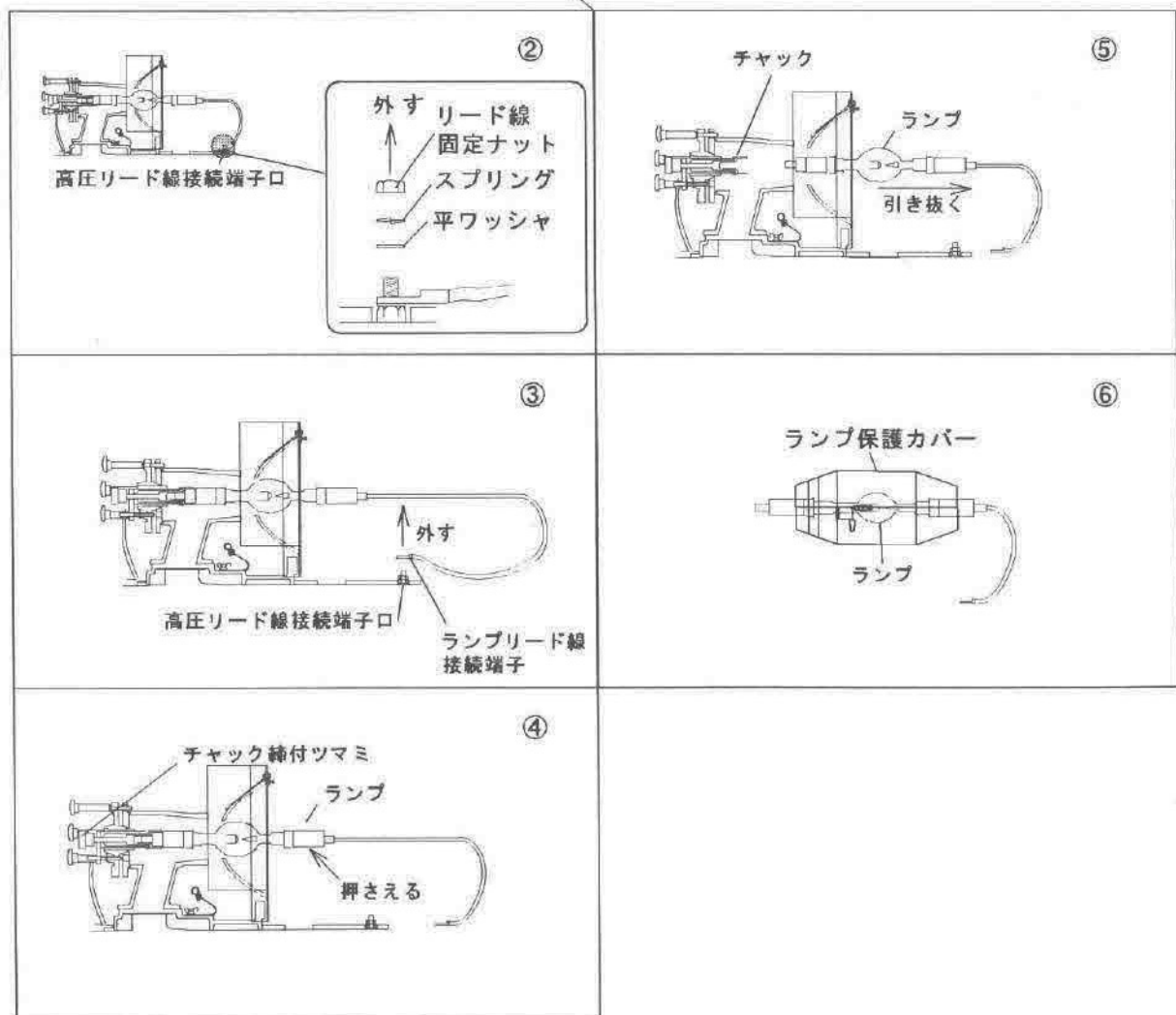
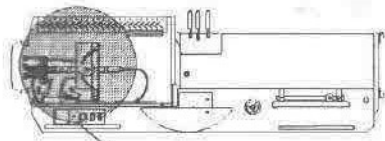
- ・ ランプに変色、黒化が生じた場合。
- ・ ランプの電極（一極）が半田が溶けたように極端に丸まっている場合。
- ・ 照射円にちらつきが生じてきた場合。
- ・ ランプ点灯の際、ランプの電極間に高圧スパークが生じてもランプがなかなか点灯しない場合。
- ・ ランプリード線接続端子に異常変色、焼損が生じた場合。

① 灯体の本体ドア固定ビスをまわし本体ドアを開けてください。

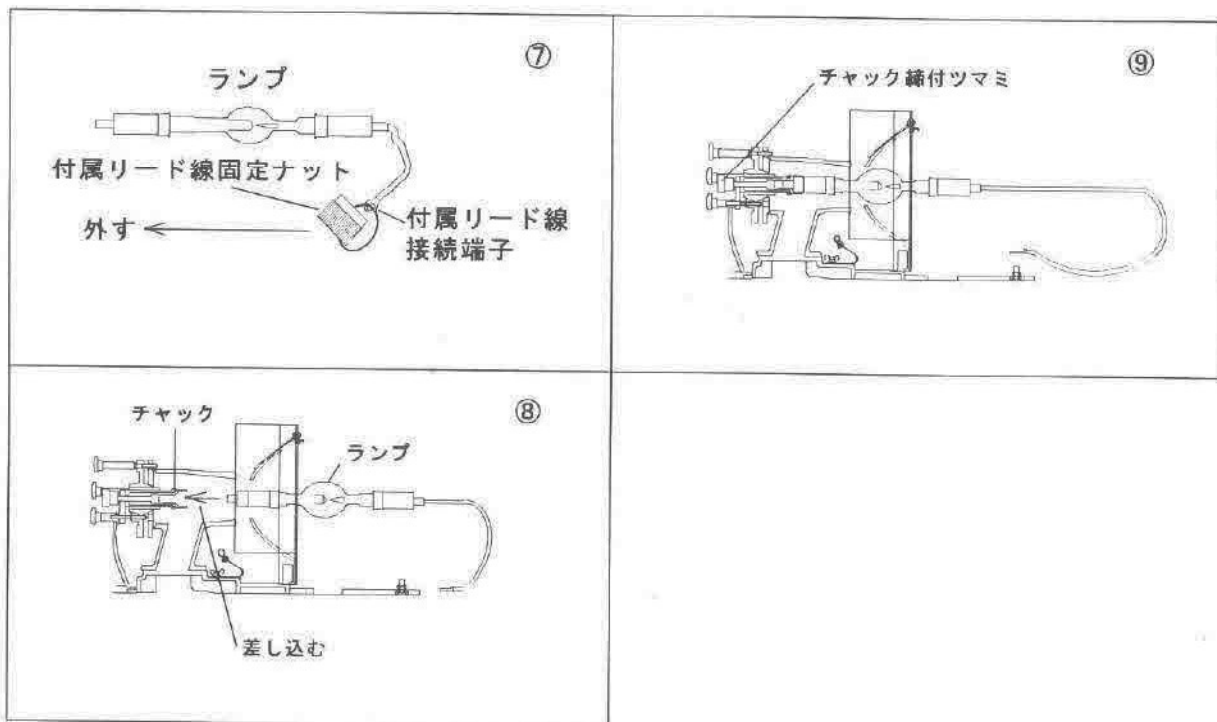


- ② スパナなどを使用しリード線固定ナット、スプリング、平ワッシャをまわし、高圧リード接続端子口より外してください。
- ③ ランプリード線接続端子を高圧リード接続端子口より外してください。
- ④ ランプを落とさないようにランプを手で持ちながら灯体の後ドアを開け、チャック締付ツマミを反時計方向にまわしてください。
- ⑤ ランプをチャックより引き抜いてください。
- ⑥ 新しいランプをランプ保護カバーより取り出してください。

注) 必ず乾いた柔らかい布などを使用し、直接素手でランプに触れないでください。
万一触れた場合は、必ず無水アルコールにて触れた部分を拭いてください。



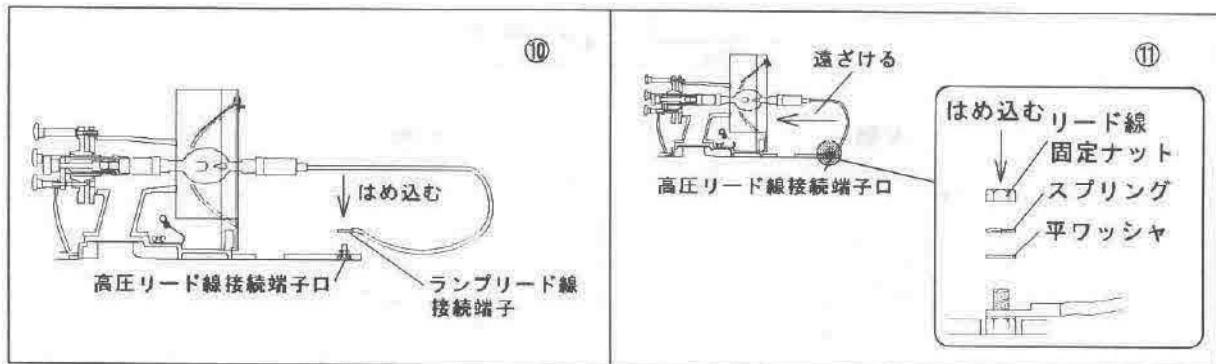
- ⑦ ランプのリード線接続端子に付属している付属リード線固定ナットを口金より取り外してください。
- ⑧ ランプの⊕側の口金をチャックにしっかり差込んでください。
- ⑨ チャック締付ツマミを時計方向にまわしランプをしっかり固定してください。



⑩ リード接続端子を高圧リード線接続端子口にはめ込んでください。

⑪ スパナなどを使用しリード線接続端子固定ナット、スプリング、平ワッシャを高圧リード線接続端子口にはめ込み、リード線接続端子を手で外れない程度にしっかり固定してください。

注) ランプのリード線接続端子を固定する際、ランプのリード線を灯体金属部分より出来るだけ遠ざけて固定してください。
遠ざけないと、高圧リークによるランプ不点灯の原因となります。
ランプを素手で触れないでください。
万一触れた場合は、必ず無水アルコールにて触れた部分を拭いてください。
ランプの+/-を確認した上でランプを取付けてください。
+/-を逆に取付けたままでランプを点灯させると一瞬にしてランプが点灯できなくなってしまいます。
ランプのリード線接続端子がしっかり接続されていないと、接触不良が生じ接続部分が焼け、故障、火災の原因となります。
ランプ交換後はランプ調整を行なってください。
(P-28【(1) ランプ調整】を参照してください。)
ランプのリード線接続端子に付属している付属リード線固定ナットは、仮設による使用の際使用してください。



(3) ランプ接続の点検

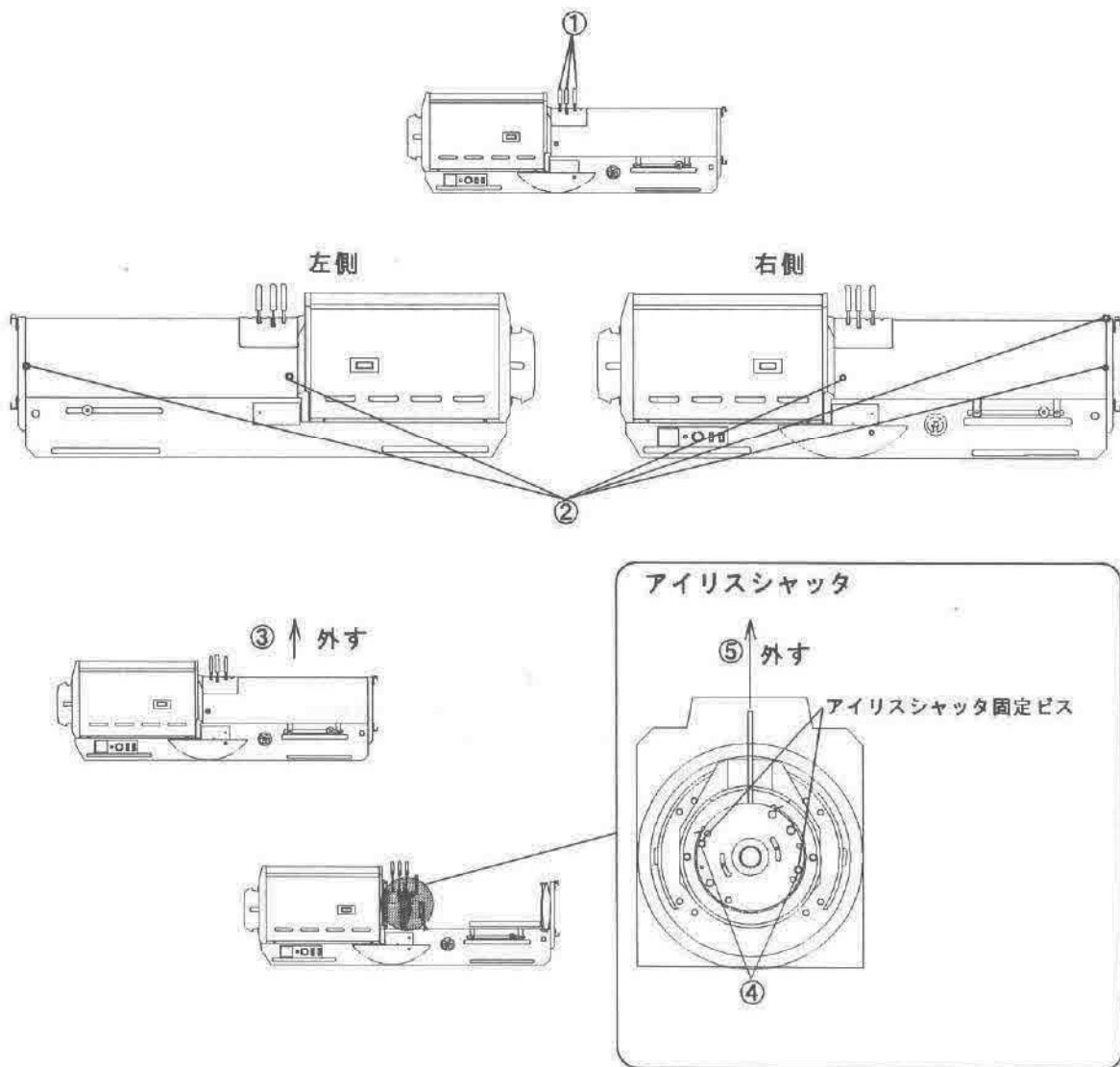
ランプを接続しているチャック、リード線接続部は、使用する前に必ず点検してから使用してください。

注) チャックの締付がゆるんでいる場合は、確実に締付けてください。
リード線接続端子固定ナットがゆるんでいる場合は、確実に締付けてください。
接触不良が生じ接続部分が焼け、故障、火災の原因となります。

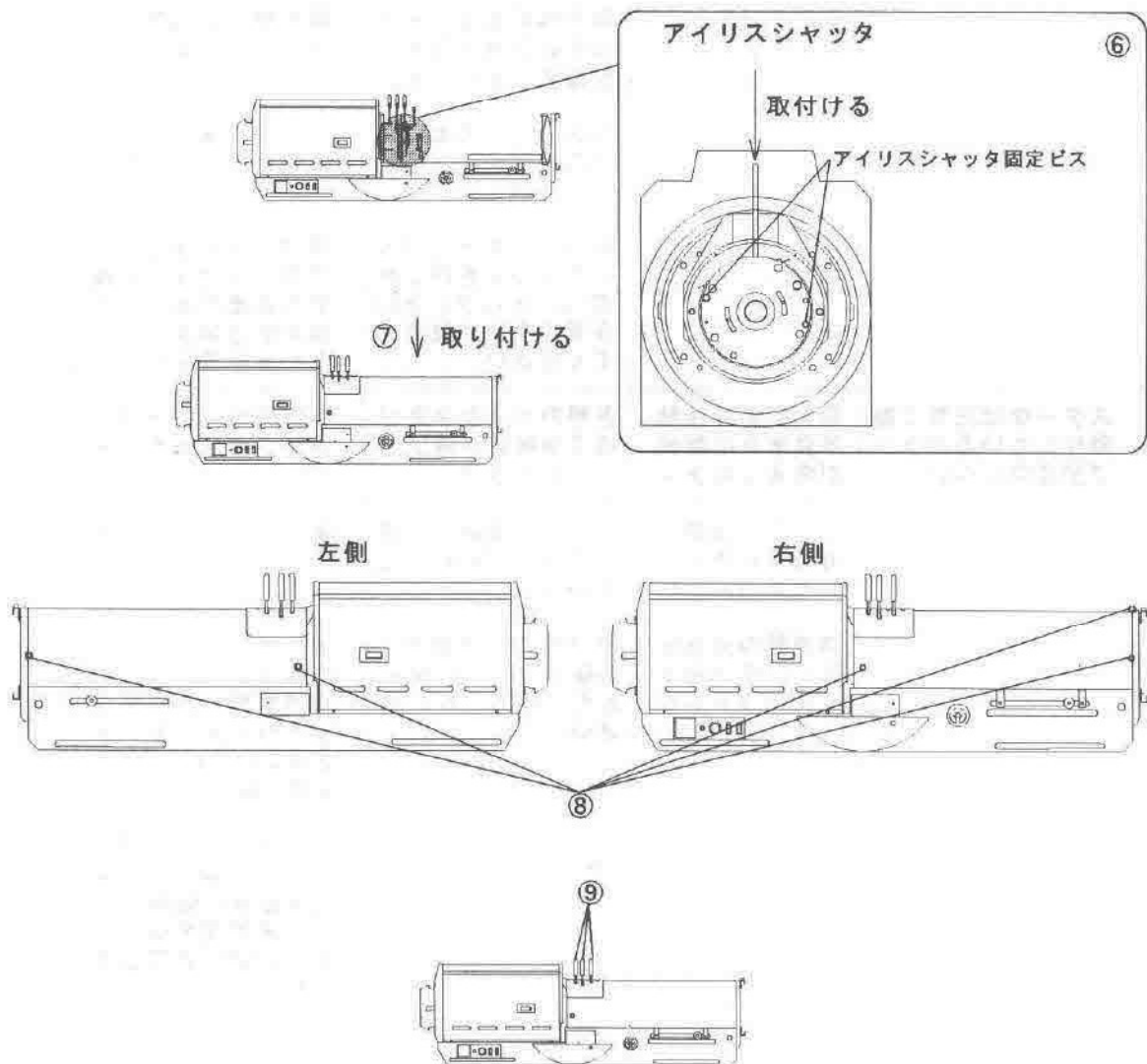
(4) アイリスシャッタの交換

アイリスシャッタの動きが固くなったら、新しいアイリスシャッタと交換してください。

- ① アイリスシャッタ、カッター、ドウサカッターの各操作レバー取手部をまわし各レバーより取り外してください。
- ② 灯体の前カバー固定ビスをまわし取り外してください。
- ③ 灯体の前カバーを取り外してください。
- ④ アイリスシャッタ固定ビスをまわし取り外してください。
- ⑤ 動きが固くなったアイリスシャッタを取り外してください。



- ⑥ 新しいアイリスシャッターをアイリスシャッター固定ビスにて灯体に固定してください。
- ⑦ 灯体の前カバーを灯体に取り付けてください。
- ⑧ 灯体の前カバー固定ビスをまわし前カバーを固定してください。
- ⑨ アイリスシャッター、カッター、ドウサカッターの各操作レバー取手部をまわし各レバーに取り付けてください。



(5) カラーチェンジャーのカラーフィルタ（別途）の交換

カラーフィルタ（別途）の色が抜けてきたら、カラーフィルタ（別途）を交換してください。
P-17【(7) カラーチェンジャーの取付】を参照してください。

15. 故障診断

機器に異常が発生した場合、以下の確認を行ってください。

現象	原因	点検箇所	対策
ランプを点灯しようとしても電極間に高圧スパークが発生しない	灯体の本体電源スイッチがONになっていない	灯体の本体電源スイッチのON/OFFを確認してください	灯体の本体電源スイッチをONにしてください
	整流器が動作していない	整流器の電源スイッチのON/OFFを確認してください	整流器の電源スイッチをONにする
		灯体の左右の本体ドアの開閉を確認してください	灯体の本体ドアをしっかり閉めてください
	スタータが動作しない	灯体の点灯押しボタンスイッチを押した際『パチパチ』という音の有無を確認してください	音がしない場合は、スタータ全体を交換する必要があります。音がする場合は、スタータは正常です
スタータは正常に動作しているがランプが点灯しない	電気回路の接触不良または断線が考えられます	各部のコネクタ及び端子台接続を確認してください	各部のコネクタ及び端子台の接続を確実に行ってください
	ランプの寿命が考えられます	ランプの電極間に高圧スパークが発生している	新しいランプと交換してください
	整流器の直流電流計の値が極端に低い値である	整流器の直流電流計の値が90A前後であるか確認してください	KCX-100P1の場合は、FULL電流調整器のツマミをまわし直流電流値を90A前後に設定してください
KSX-100MHXC4の場合は、電流調整器の軸棒をまわし直流電流値を90A前後に設定してください			

16. 日常点検項目と修理依頼

日常点検は、ご購入頂いた照明器具の性能維持と操作の安全を確保するために必要です。以下の日常点検チェックリストに基づき日常点検を励行され、安全に十分ご留意の上ご使用ください。

日常点検チェックリストに基づいて点検した結果、修理依頼が必要な場合は、ご使用を控えて弊社までお問い合わせください。

また、以下の場合は直ちにご使用を中止し、弊社へ修理依頼のお問い合わせください。

- 点灯中に灯体内の1つあるいは全ての冷却ファンの回転音がしない。
- 点灯中に灯体内のスタータの動作音（“チチ・・・”という音）がする。
- 点灯中に整流器内の冷却ファンの回転音がしない。
- 点灯中に整流器が異常音を発生する。
- 点灯中に整流器の電流計が1A以上の範囲で振れる。

注意！！ 整流器の近くでトランシーバなどの無線機を使用しないでください。整流器に悪影響を与えるおそれがあります。

日常点検チェックリスト

日常点検項目	処置内容				
	締結	交換	清掃	調整	修理依頼
1. スタンド					
(1) スタンドの異常変形、損傷はありませんか					○
(2) キャスタの異常変形、損傷はありませんか					○
(3) キャスタの緩みはありませんか	○				
(4) スタンド固定ツマミの締め付けに異常はありませんか					○
(5) 灯体の高さ調整する昇降ハンドル・パイプ固定用ハンドルの動作・締め付けに異常はありませんか					○
(6) 落下防止リングに変形、損傷はありませんか（折畳式）		○			
(7) 落下防止リングの締め付けに異常はありませんか（折畳式）		○			
(8) 角度調整部（灯体の上下左右）の動作、締め付けに異常はありませんか					○
(9) 転倒防止ワイヤ支持軸の押さえ金具に変形、損傷はありませんか		○			
(10) ネジ類に緩みはありませんか	○				
2. ランプ					
(1) ランプに変色、黒化はありませんか		○			
(2) ランプの電極（一極）が半田が溶けたように極端に丸まっていますか		○			
(3) ランプリード線接続端子に異常変色、焼損はありませんか		○			
(4) ランプがランプチャックに確実に装着されていますか				○	
(5) リフレクタに対してランプ調整（上下左右）が極端にずれていませんか				○	
(6) ランプ調整機構の動作、締め付けに異常はありませんか					○
3. 灯体					
(1) 転倒防止ワイヤ支持軸の異常変形、損傷はありませんか					○
(2) 灯体に異常変形、損傷はありませんか					○
(3) 窓ガラスにひび割れ、損傷はありませんか					○
(4) カラーチェンジャ取付枠に変形、損傷はありませんか					○
(5) カラーチェンジャ取付枠の取付金具に変形、損傷はありませんか					○
(6) カラーチェンジャ等に破損、変形はありませんか		○			
(7) カラーチェンジャ等は確実に取付られていますか	○				
(8) 操作ケーブル、DCケーブルに変色、亀裂、変形はありませんか		○			
(9) ワンタッチコネクタの接続部に変色、焼損はありませんか		○			
(10) ワンタッチコネクタに緩みはありませんか	○				
(11) ワンタッチコネクタの着脱状態は良いですか		○			
(12) ズーム調整機構の動作に異常はありませんか					○
(13) アイリスシャッタの動作に異常はありませんか		○			
(14) カッタの動作に異常はありませんか					○
(15) ドウサカッタの動作に異常はありませんか					○

日常点検項目	処置内容				
	点検	交換	清掃	調整	修理依頼
3. 灯体					
(16) ソフトフォーカス機構 (オフオン) の動作に異常はありませんか					○
(17) レンズ (前玉/後玉)、リフレクタ、熱線反射フィルタは汚れていませんか			○		
(18) レンズ (前玉/後玉)、リフレクタ、熱線反射フィルタに破損はありませんか					○
(19) キットベーク板にひび割れ、焼損はありませんか					○
(20) アーク安定マグネットに緩みはありませんか	○				
(21) 灯体内に塵や紙吹雪はありませんか			○		
(22) 本体カバー、本体ドアは固定ビスで確実に取付られていますか	○				
(23) ネジ類に緩みはありませんか	○				
4. 整流器 (KCX-100P1)	点検	交換	清掃	調整	修理依頼
(1) 整流器の異常変形、損傷はありませんか					○
(2) 整流器の固定金具の異常変形、損傷はありませんか		○			
(3) 整流器の固定金具の緩みはありませんか	○				
(4) 入力電源コード、操作ケーブル、DCケーブルに変色、亀裂、変形はありませんか		○			
(5) 端子台接続部に変色、焼損はありませんか					○
(6) 端子ネジに緩みはありませんか	○				
(7) 内部配線に異常変色、焼損はありませんか					○
(8) 吸気口及び排気口に塵や紙吹雪はありませんか			○		
(9) ネジ類に緩みはありませんか	○				
4. 整流器 (KSX-100MHXC4)	点検	交換	清掃	調整	修理依頼
(1) 整流器の異常変形、損傷はありませんか					○
(2) 吸気口および排気口は0.1m以上の間隔が空けられていますか				○	
(3) 入力電源コード、操作ケーブル、DCケーブルに変色、亀裂、変形はありませんか		○			
(4) ワンタッチコネクタの接続部に変色、焼損はありませんか		○			
(5) ワンタッチコネクタに緩みはありませんか	○				
(6) ワンタッチコネクタの着脱状態は良いですか		○			
(7) 吸気口及び排気口に塵や紙吹雪はありませんか			○		
(8) ネジ類に緩みはありませんか	○				

- 注意！！ 1. 必ず入力電源を切り（ブレーカ等）、整流器の電源スイッチ、灯体の本体電源スイッチをOFFにしてから点検を行ってください。
2. 手や腕に貴金属や精密機器を身につけて作業しないでください。

定期点検のお勧め

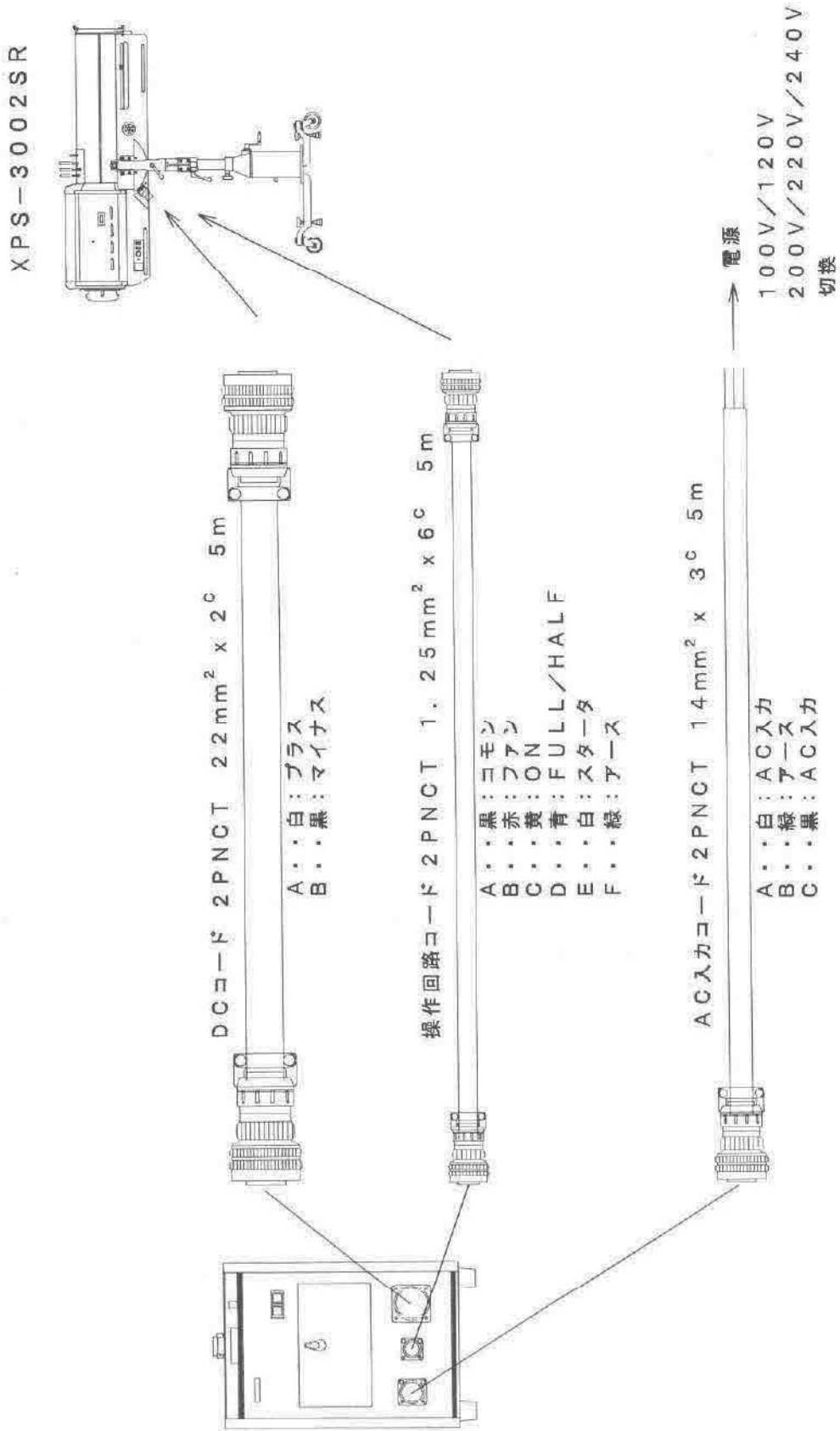
使用期間における経年変化または、ご使用状況によっては消耗、劣化する部品や絶縁の低下がありますので、専門技術者による定期点検をお勧めします。定期点検については、弊社へお問い合わせ願います。弊社の専門技術者がお伺い致します。

修理依頼について

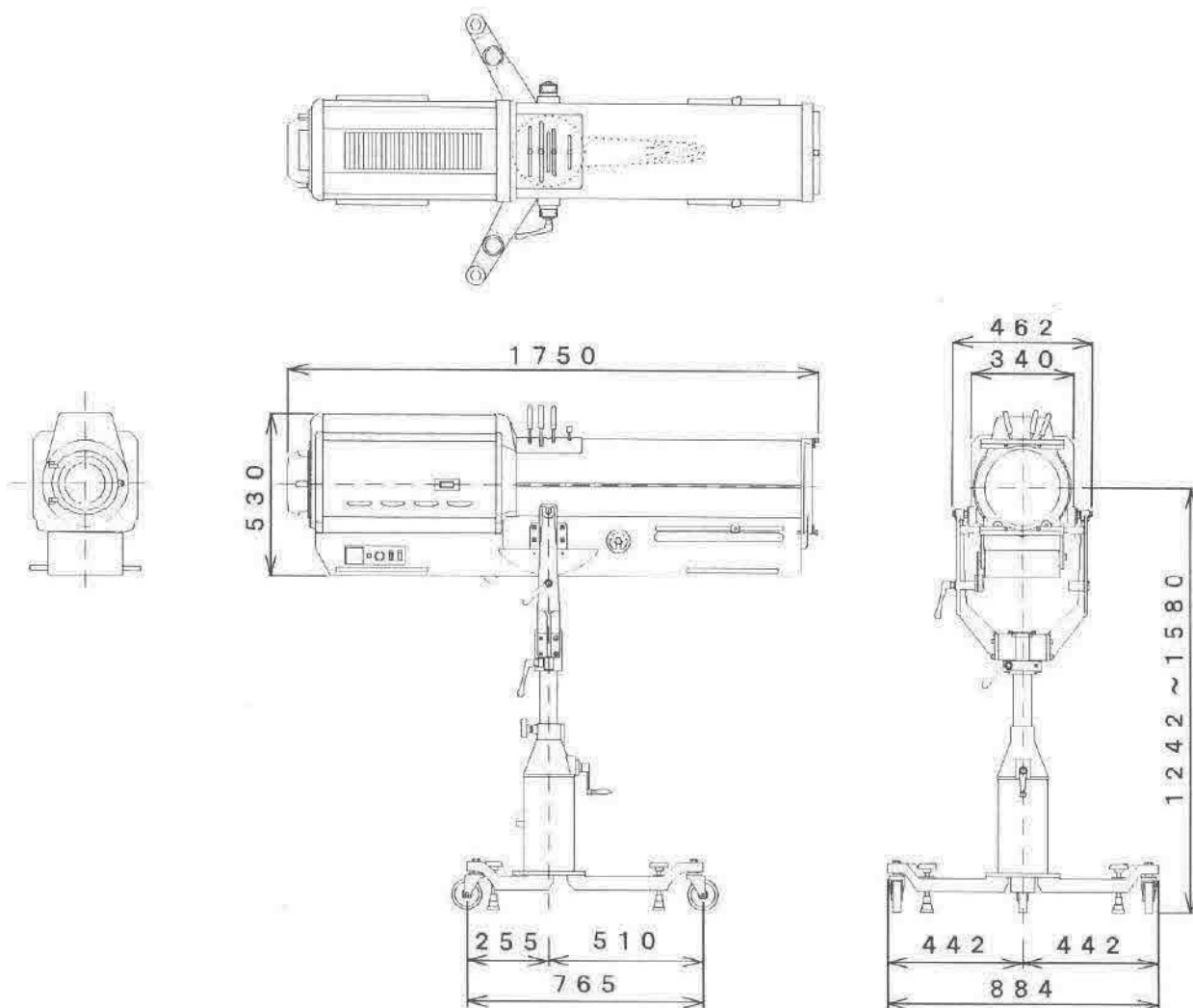
日常点検チェックリストに基づいて点検した結果、修理依頼の必要がある場合、およびその他の異常がある場合は弊社へ修理依頼をお願いします。弊社の専門技術者がお伺い致します。また、修理依頼される場合は、異常状態の確認、交換部品選定のため、次の点についてお聞かせください。

- ご購入年月日
- ご購入先代理店名
- 灯体（後ドア）及び整流器（前面ドアまたは右側）の型式・シリアル番号
- ご使用状況及び異常状態の詳細（取扱説明書に記載の部品NO）

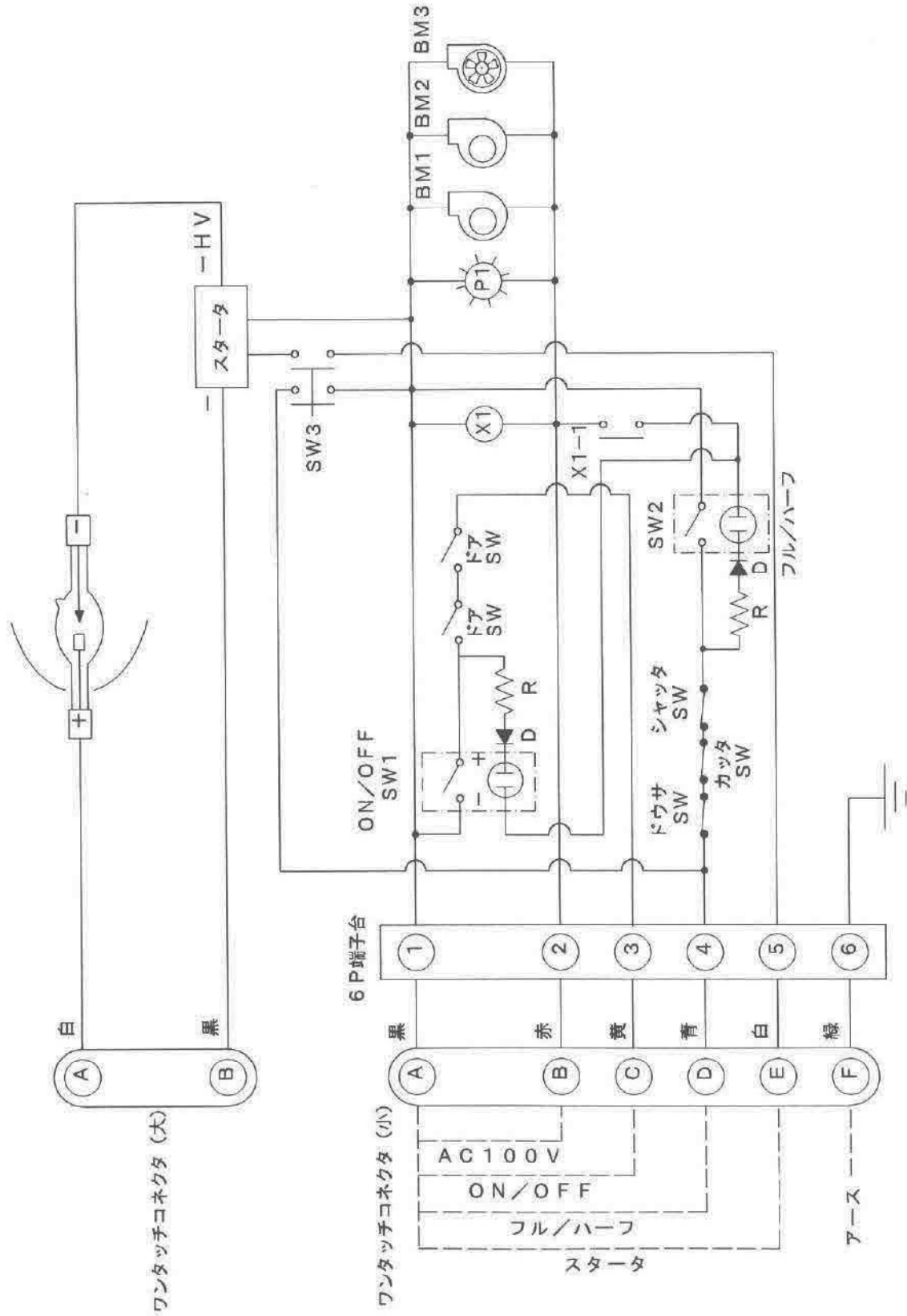
総合配線系統図 (K SX - 100MHXC4)



外觀寸法図 (XPS-3002SR)



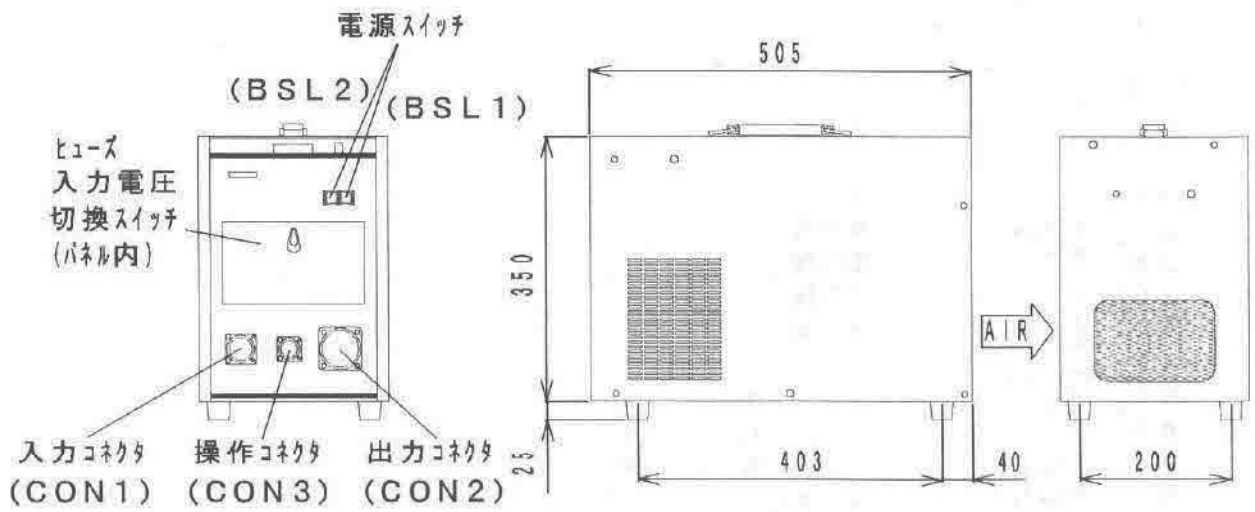
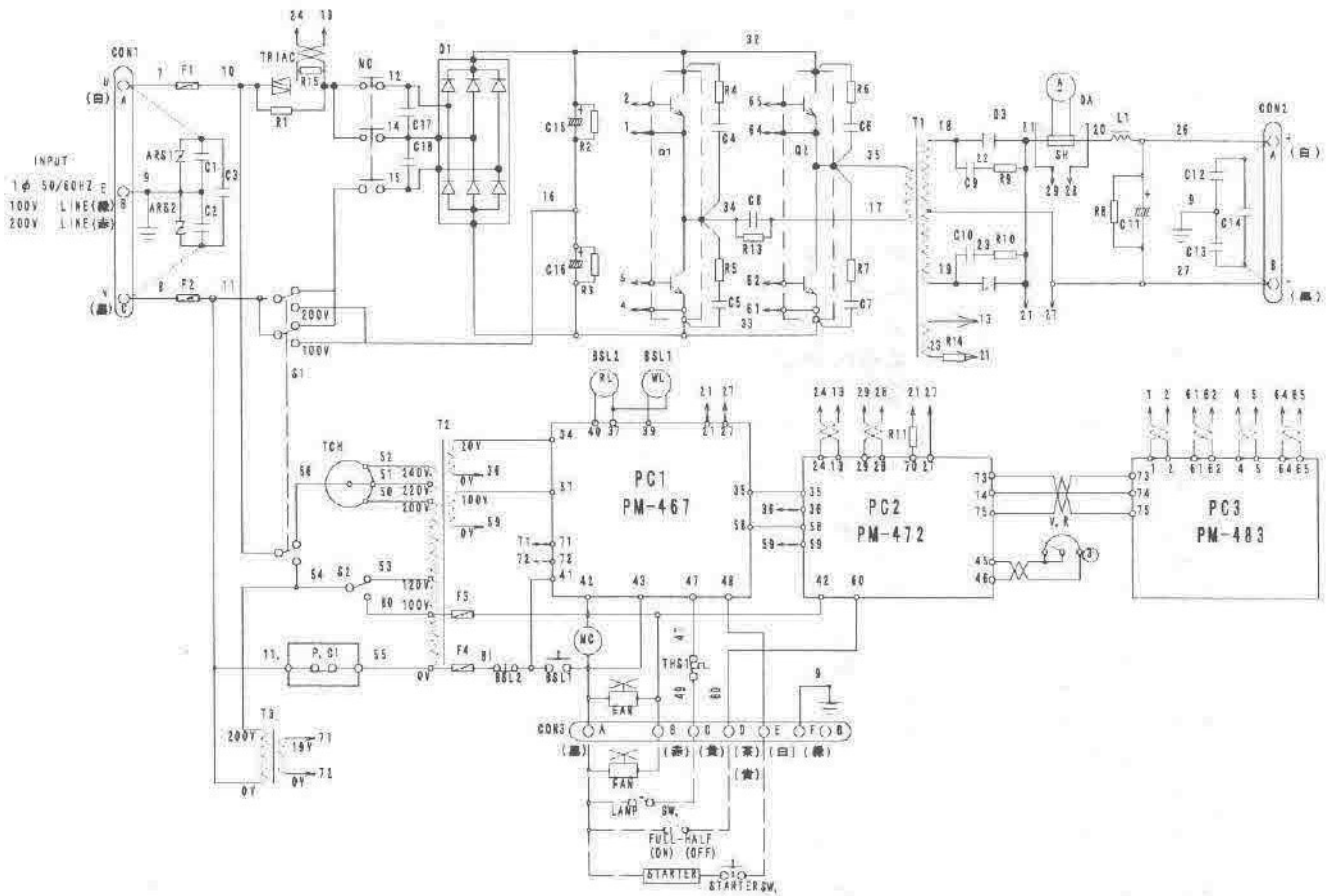
灯体内部配線系統図



KCX-100P1 (部品明細表)

NO	部品番号	部品名	型式/定格値	数量
1	SL1	受電運転表示	BN10-2CT-R AC220V	1
2	SL2	過電流表示灯	SEL-152R	1
3	DA	直流電流計	DC 100A 60MV	1
4	SH	分流器	S-TYPE 100A/60MV	1
5	MCB	配線遮断器	HB TYPE 20AT 2P2E BS2022	1
6	VR1	可変抵抗器(FULL)	1K Ω	1
7	VR2	可変抵抗器(HALF)	1K Ω 0.4W	1
8	R1	抵抗器	3W 6.8 Ω	1
9	R2	抵抗器	3W 1K Ω	1
10	R3	抵抗器	20W 0.1 Ω	1
11	C1	コンデンサ	DC100V 10000 μ F	2
12	C2, 3	コンデンサ	DC1KV 0.1 μ F	2
13	THY1-8	サイリスタ		8
14	SA1-4	サージアブソーバ		4
15	FAN	冷却扇	AC200V 50/60HZ	1
16	SG	火花ギャップ	AC125V 130PF	1
17	T	変圧器		1
18	L	リアクトル		1
19	IPL	相間リアクトル		1
20	PC1	プリント板	YAPM-439	1
21	PC2	プリント板	YPM-596	1
22	TB1	端子台(入力電源切換)	TS-625P 10P 660V 30A	1
23	TB2	端子台(操作出力)	TS-615 8P 660V 15A	1

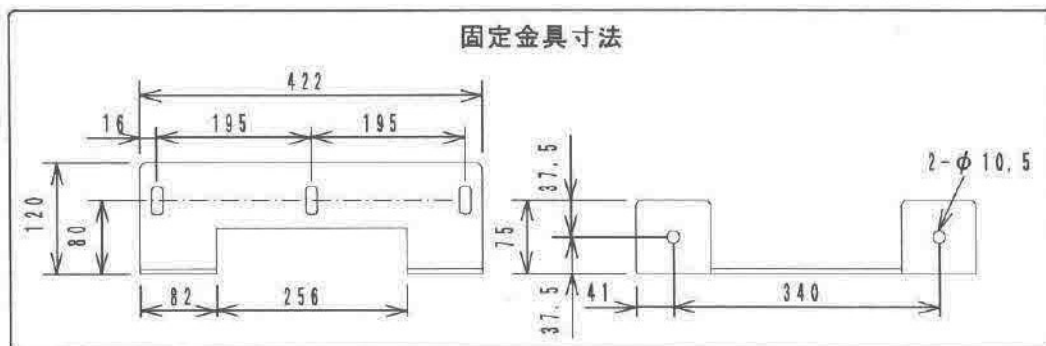
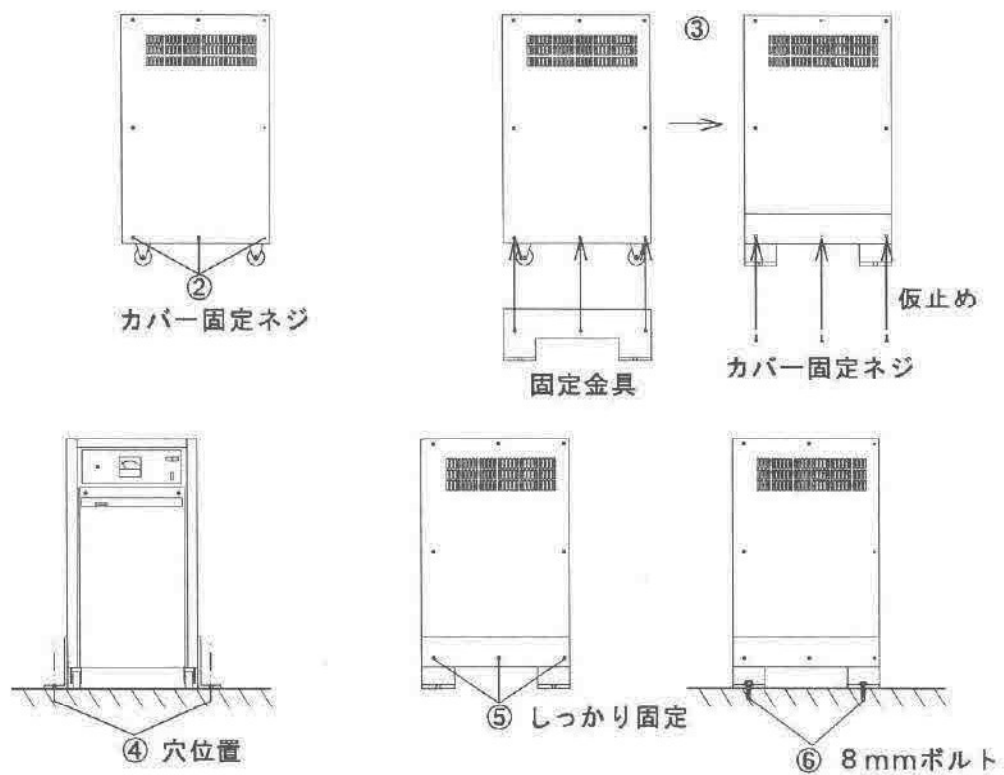
KSX-100MHXC4 (回路図/外観寸法図)



KSX-100MHXC4 (部品明細表)

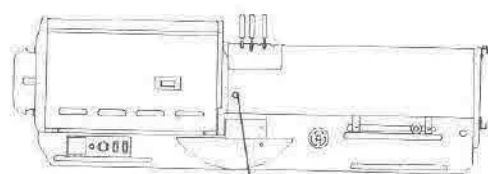
NO	部品番号	部品名	型式/定格値	数量
1	F1, 2	ヒューズ	AAC-50A	2
2	F3, 4	ヒューズ	3A 250V 32-746	2
3	DA	直流電流計	100A/60MV	1
4	SH	分流器	100A/60MV	1
5	S1	スイッチ	S-32 3PDT	1
6	S2	スイッチ	S-2B 1PDT	1
7	BSL1	照光式押ボタン	LB15SKS1 AT-476-W	1
8	BSL2	照光式押ボタン	LB15SKS1 AT-476-R	1
9	TCH	タップ切換器	SJ-2875	1
10	MC	電磁接触器	AC100V	1
11	THS	温度スイッチ	90 OFF	1
12	VR	可変抵抗器	0.3W 10Ω	1
13	R1	抵抗器	20W 10KΩ	1
14	R2-3	抵抗器	3W 10Ω	2
15	R4-7	抵抗器	20W 10Ω Δ1-ト'	4
16	R8	抵抗器	3W 10KΩ	1
17	R9-10	抵抗器	3W 10Ω	2
18	R11	抵抗器	40W 20Ω	1
19	R13	抵抗器	3W 100Ω	2
20	R14	抵抗器	20W 50Ω	1
21	R15	抵抗器	1/2W 1kΩ	1
22	C1-2	コンデンサ	250V .0022μF	2
23	C3	コンデンサ	DC630V 0.1μF	1
24	C4-7	コンデンサ	DC600V .0056μF	4
25	C8	コンデンサ		2
26	C9-10	コンデンサ	DC600V .0056μF	2
27	C11	コンデンサ	200V 2200μF	1
28	C12-13	コンデンサ	250V .0022μF	2
29	C14	コンデンサ	1200V 0.01μF	1
30	C15-16	コンデンサ	200V 3300μF	4
31	C17-18	コンデンサ	630V 0.1μF	2
32	Q1, 2	トランジスタ		2
33	D1	ダイオード	600V	1
34	D3	ダイオード		1
35	TRIAC	トライアック		1
36	FAN1	冷却扇	AC100V	1
37	FAN2	冷却扇	AC100V	1
38	T1	変圧器		1
39	T2	変圧器		1
40	T3	変圧器		1
41	L1	リアクトル		1
42	PC1	プリント板	PM-467	1
43	PC2	プリント板	PM-472	1
44	PC3	プリント板	PM-483	1
45	CON1	コンセント	C1R020R-28-6P	1
46	CON2	コンセント	C1R020R-32-5S-F80	1
47	CON3	コンセント	C1R020R-16S-1S	1
48	ARS1-2	避雷器	TNR15GF471K 470V	2

整流器の固定方法 (KCX-100P1)

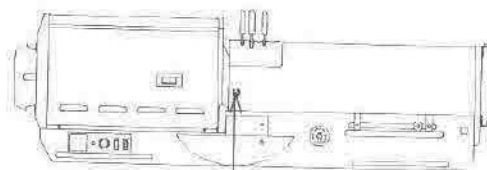


- ① 整流器の設置位置を決めてください。
 - ② 整流器の両側面下部のカバー固定ネジを外してください。
 - ③ 付属の固定金具をカバー固定ネジで仮止めしてください。
 - ④ 付属の固定金具を床面に対し水平に合わせ、固定用穴の位置調整してください。
 - ⑤ 仮止めしているカバー固定ネジをしっかり固定してください。
 - ⑥ 固定金具の床の固定用穴に8mmのボルトで固定してください。
- 注) 整流器の側面、後面より強制換気を行っている為、壁面などから最低0.1m以上離してください。

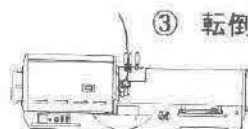
転倒防止ワイヤ取付支持軸の取付方法（オプション）



① 取外す
本体支持軸



② 取付ける
転倒防止ワイヤ取付支持軸



③ 転倒防止ワイヤ固定

- ① 現行の本体支持軸（灯体左右の2個）を取り外してください。
- ② 付属の転倒防止ワイヤ取付支持軸を取付けてください。（灯体左右の2個）
- ③ 転倒防止ワイヤを転倒防止ワイヤ取付支持軸に固定してください。

注）転倒防止ワイヤは、3mm以上の太さのものを使用してください。

17. 主な仕様

機器構成		主な仕様			
灯体型名	XPS-3002SR	最高周囲温度	40℃		
		最高表面温度	103℃		
		最小照射距離	8m		
		最小離隔距離	0.3m		
		使用角度範囲			
		ケーブルおよび接続	DCケーブル: 2PNCT22mm ² ×2 ^c ×5m ^t -ムコネクタ付 操作ケーブル: 2PNCT1.25mm ² ×6 ^c ×5m ^t -ムコネクタ付		
		本体重量	7.7kg		
		本体寸法	W462×H530×D1750mm		
		照度データ	照射距離	最小照射径	照度
			40m	1.8m	20,300Lx
			50m	2.25m	13,000Lx
			60m	2.7m	9,000Lx
			70m	3.15m	6,600Lx
			80m	3.6m	5,100Lx
90m	4.05m		4,000Lx		
ズーム比: 2倍以上	100m		4.5m	3,200Lx	
騒音	44ホーン以下				
材質	アルミ鋳物と薄鋼板製				
塗装色	本体トア・前面カバー: 5Y7/2 上記以外本体: 10YR3/2 (チタニ)				
適合ランプ	UXL-30PR	点灯電圧	DC30V		
		定格消費電力	3000W		
		定格電流	DC100A (実用電流範囲 70~100A)		
		全光束	120,000Lm		
		色温度	約6,000K		
		冷却方法	強制空冷4~6m/s		
		適合電源ボックス (整流器)	KCX-100P1(据置型)	定格電源電圧	3相4線式173V/3相3線式200V±10%
消費電力	4500W(MAX) (5.5KVA)				
定格周波数	50/60Hz				
入力電流	1.8/1.6A (3.2A) 173V				
入出力ケーブルの接続	端子接続				
重量	6.5kg				
寸法	W385×H745×D440mm				
塗装色	正面: N7 半ツヤ 側面・天井・後面: N. D. G				
適合電源ボックス (整流器)	KSX-100MHXC4	定格電源電圧	単相2線式100V/単相3線式200V±10%		
		消費電力	3600W(MAX) (5KVA)		
		定格周波数	50/60Hz		
		入力電流	5.0/2.8A (5.1A) 100V		
		入出力ケーブルの接続	ビームコネクタ接続		
		重量	2.8kg		
		寸法	W250×H375×D505mm		
		塗装色	正面: N7 半ツヤ 側面・天井・後面: N. D. G		

機 器 構 成		主 な 仕 様	
スタンド	ST-3K2	材 質	アルミ鋳物と鉄パイプ
		重 量	5.3kg
		寸 法	W884×D800×H1172~1510mm
		塗装色	10YR3/2 (珪'ミ)
スタンド	ST-3KT2	材 質	アルミ鋳物と鉄パイプ
		重 量	5.2kg
		寸 法	W884×D800×H1172~1510mm
		塗装色	10YR3/2 (珪'ミ)